データ表示／編集／管理

データBOXについて 302

■画像を使いこなす

保存した画像を表示する ..... マイピクチャ 304
画像を編集する ..... イメージ編集 311

■動画を使いこなす

動画／ｉモーションを再生する ..... ｉモーション 313
動画を編集する ..... ｉモーション編集 316

■ビデオを使いこなす

ビデオを再生する ..... ビデオプレーヤー 316

■キャラ電を使いこなす

キャラ電とは 318
キャラ電を画像／動画として保存する ..... キャラ電撮影 320

■メロディを使いこなす

メロディを再生する ..... メロディ 322

■きせかえツールを使いこなす

きせかえツールを管理する ..... きせかえツール 325

■microSDカードを使いこなす

microSDカード 326
microSDカードのデータを表示する 329
microSDカードとFOMA端末間でデータをコピーする 330
著作権のあるデータをmicroSDカードとFOMA端末間で移動する ..... コンテンツ移行対応 333
microSDカードの管理について ..... microSD管理 334
USBモードを設定する ..... USBモード設定 334
microSDリーダー／ライターとして使う 335
microSDカードに保存されている画像の印刷方法を設定する ..... DPOF設定 336

■各種データを使いこなす

フォルダとデータを操作する 337
FOMAカードで電話帳やSMSを管理する ..... FOMAカード（UIM）操作 338

■赤外線通信／ｉC通信／ケーブル接続でデータをやりとりする

赤外線通信／ｉC通信について 340
赤外線通信でデータを転送する ..... 赤外線通信 342
ｉC通信でデータを転送する ..... ｉC通信 344
ケーブル接続によるデータ転送について ..... OBEX™通信 345
電話帳の画像を転送しないように設定する ..... 電話帳画像転送 346
赤外線リモコン機能を利用する 346

■PDFビューアを使いこなす

PDFデータを表示する ..... マイドキュメント 347
PDFデータ画面について 348

データBOXについて

データBOXにはカメラで撮影した写真や動画、メールやサイトからダウンロードしたデータなどが保存されます。

■フォルダの内容

●以下のような項目とフォルダが用意されており、データの種類に合わせてフォルダに振り分けられます。

フォルダ	フォルダ説明
マイピクチャ	
INBOX	カメラで撮影した写真、サイトやメール、バーコードリーダーから取得した画像の保存先として選択可能です。 microSDカードからコピーしたり、赤外線通信などで転送された画像は自動的にこのフォルダに保存されます。
カメラ	INBOXと同様の画像の保存先として選択可能です。 キャラ電撮影した画像は自動的にこのフォルダに保存されます。
デコメピクチャ	デコメール®用の画像が内蔵されています。INBOXと同様の画像の保存先として選択可能です。
デコメ絵文字※1	デコメ®絵文字がカテゴリ別フォルダに内蔵されています。 サイトやメールから取得したり、microSDカードからコピーしたデコメ®絵文字が保存されます。
おまかせデコメ	おまかせデコメ用の画像が、感情の分類別フォルダに内蔵されています。 サイトから取得した画像が保存されます。
プリインストール	待受画面やウェイクアップなどの画像、アニメーションが内蔵されています。
シークレットフォルダ※2	ほかの人に見られたくない画像を保管します。
ユーザ作成フォルダ※3	INBOXと同様の画像の保存先として選択可能です。
自作アニメ	連続撮影で登録したアニメーションや自作のアニメーションが保存されます。

フォルダ		フォルダ説明
microSD	ピクチャ	撮影した写真やFOMA端末からコピーしたり、パソコンなどからmicroSDカードに保存したJPEG・GIF形式の画像が保存されます。
	デコメ絵文字※1	FOMA端末からコピーしたり、パソコンなどからmicroSDカードに保存したデコメ®絵文字が保存されます。
	イメージボックス	FOMA端末からコピーしたGIF形式のアニメーションとSWF形式のFlash画像、パソコンなどからmicroSDカードに保存したJPEG形式の画像やGIF形式のアニメーション、SWF形式のFlash画像が保存されます。
フレーム		フレームが内蔵されています。 サイトなどから取得したフレームは自動的にこのフォルダに保存されます。
スタンプ		マーカースタンプが内蔵されています。 サイトなどから取得したスタンプは自動的にこのフォルダに保存されます。
iモーション		
INBOX		カメラで撮影した動画、サイトやメールから取得した動画・iモーションの保存先として選択可能です。 microSDカードからコピー・移動したり、赤外線通信などで転送された動画・iモーションは自動的にこのフォルダに保存されます。
カメラ		INBOXと同様の動画・iモーションの保存先として選択可能です。 キャラ電撮影した動画は自動的にこのフォルダに保存されます。
シークレットフォルダ※2		ほかの人に見られたくない動画・iモーションを保管します。
ユーザ作成フォルダ※3		INBOXと同様の動画・iモーションの保存先として選択可能です。
microSD	SDビデオ※4	撮影した動画、FOMA端末からコピーした動画・iモーション、パソコンなどからmicroSDカードに保存した動画が保存されます。
	マルチメディア※5	

フォルダ		フォルダ説明
移行可能コンテンツ		FOMA端末からmicroSDカードに移動した動画・iモーションが保存されます。
プログラム		動画プログラム再生に利用するフォルダです。→P.315
テレビ		
イメージ	INBOX	録画した静止画は自動的にこのフォルダに保存されます。
	ユーザ作成フォルダ※3	INBOXから移動した静止画の保存先として選択可能です。
ビデオ	microSD	録画したビデオが保存されます。
着信メロディ		
INBOX		サイトやメール、バーコードリーダーから取得したメロディの保存先として選択可能です。 microSDカードからコピーしたり、赤外線通信などで転送されたメロディは自動的にこのフォルダに保存されます。
プリインストール		メロディや効果音が内蔵されています。
ユーザ作成フォルダ※3		INBOXと同様のメロディの保存先として選択可能です。
おしゃべり		「おしゃべり機能」で録音した音声は自動的にこのフォルダに保存されます。
microSD		FOMA端末からコピーしたり、パソコンなどからmicroSDカードに保存したメロディが保存されます。
プログラム		メロディプログラム再生に利用するフォルダです。 →P.324
音楽（ミュージック）		
プレイリスト		FOMA端末で作成したプレイリストが保存されます。
INBOX		音楽データの保存先として選択可能です。
SD-Audio WMA		パソコンなどからmicroSDカードに転送した音楽データが保存されます。
移行可能コンテンツ		FOMA端末からmicroSDカードに移動した音楽データが保存されます。
ユーザ作成フォルダ※3		INBOXと同様の音楽データの保存先として選択可能です。

フォルダ	フォルダ説明
音楽（Music&Videoチャネル）	
配信番組	保存されている番組が表示されます。
ユーザ作成フォルダ※3	配信番組から移動した番組の保存先として選択可能です。
きせかえツール	
パッケージが内蔵されています。サイトから取得したパッケージは自動的にこの項目に保存されます。	
マイドキュメント	
INBOX	サイトやメールから取得したPDFデータの保存先として選択可能です。microSDカードからコピーしたり、赤外線通信などで転送されたPDFデータは自動的にこのフォルダに保存されます。
ユーザ作成フォルダ※3	INBOXと同様のPDFデータの保存先として選択可能です。
microSD	FOMA端末からコピーしたPDFデータ、パソコンなどからmicroSDカードに保存したPDFデータが保存されます。
キャラ電	
キャラ電が内蔵されています。サイトから取得したキャラ電は自動的にこの項目に保存されます。	

※1：デコメ®絵文字のみ保存できるフォルダです。
※2：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。
※3：「フォルダ追加」で20個まで作成できます。「フォルダ追加」時にフォルダ名を入力します。あとで「フォルダ名編集」で変更することもできます。
※4：映像付きの動画・iモーションが保存されます。
※5：映像のない音声のみの動画・iモーション（AAC形式の音楽データを含む）が保存されます。

保存した画像を表示する〈マイピクチャ〉

撮影した写真やダウンロードした画像などは、データBOXのマイピクチャで表示します。

❶ MENU▶「データBOX」▶「マイピクチャ」

マイピクチャのフォルダ内容について
→P.302

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.337

■テレビで録画した静止画を表示する場合

▶MENU▶「データBOX」▶「テレビ」▶「イメージ」

イメージのフォルダ内容について→P.303

❷ フォルダを選択

画像一覧画面の見かた
→P.305

■ｉモードで画像を検索する場合

▶「ｉモードで探す」▶「YES」

画像一覧画面

機能メニュー➡P.307

❸ 画像を選択

「マイピクチャ画面」では、▶で前または次の画像を表示することができます。

■通常モードと全画面モードを切り替える場合

▶[i]［通常／全画面］

全画面モードでは、縦長画像はそのままの向きで表示されますが、横長画像は、右に90度回転させて表示されます。

マイピクチャ画面

機能メニュー➡P.307

■画像を拡大表示する場合

▶■［🔍］

[i]［+］／[✉]［−］を押すたびに1段階ずつ拡大／縮小します。

[ch]［等倍］を押すと画像を等倍表示します。

画像が画面内に収まらないときは、▶で画像をスクロールできます。

元の表示に戻すときは、■［戻る］を押します。

おしらせ

- 以下の画像は表示できません。
  - 2Mバイトを超える画像
  - 横または縦の最大が2,592ドットを超えるか、総ドット数が2,592×1,944ドットを超える画像
  - 総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式、GIF形式の画像
- 拡大表示をしているとき、▶で前または次の画像の切り替えや、機能メニューの表示はできません。
- 横1,705×縦1,705ドット以上の画像を拡大表示したときは、等倍表示できない場合があります。
- 自作アニメ、GIF形式のアニメーション、Flash画像は拡大表示できません。
- Flash画像を再生する際の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります（「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります）。

ピクチャー一覧／タイトル名一覧の見かた

●画像一覧の表示のしかたを設定する

〈ピクチャ表示設定〉

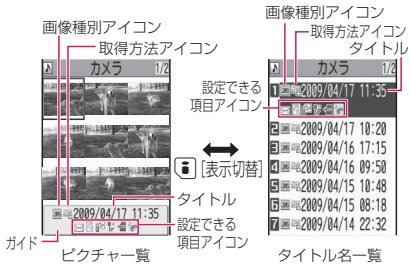
1 MENU▶「設定」▶「画面表示」▶「その他の設定」▶「ピクチャ表示」▶以下の項目から選択

ピクチャー一覧……ピクチャー一覧に切り替えます。

タイトル名一覧……タイトル名一覧に切り替えます。

●ピクチャー一覧／タイトル名一覧の見かた

●画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.305
●タイトル、ファイル名について→P.307



※自作アニメは常にタイトル名一覧で表示されます。

■画像種別アイコン

アイコン	説明
JPG	JPEG形式の画像
GIF	GIF形式の画像
	GIF(IFM)形式のフレーム、マーカースタンプ
	SWF形式のFlash画像
	MP4形式の動画、iモーション
(青色の音符)	音響効果のあるMP4形式のiモーション
(オレンジ色の音符)	ASF形式のiモーション
	MP4形式の再生制限ありのiモーション
	音響効果があり、再生制限ありのMP4形式のiモーション
	部分的に取得したiモーション
(緑色の音符)	FOMA端末（本体）に移動可能なiモーション
(青色の音符)	音響効果があり、FOMA端末(本体)に移動可能なiモーション
	FOMA端末（本体）への移動が禁止されているiモーション
	AFD形式のキャラ電
	テレビで録画したビデオ
	FOMAカードのセキュリティ機能がかかっている画像

：ファイル制限が設定されていたり、メールへの添付、FOMA端末外への出力が禁止されているデータ

：再生制限付きのiモーション（再生回数・期間・期限を過ぎると「」が「」になります）

：iモーション保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

：iモーション保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

次ページにつづく

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	プリインストールデータ
	サイトやメール、トルカなどからダウンロードしたり、ｉアプリから取得したデータ
	カメラで撮影したデータ
	赤外線通信やｉC通信、microSDカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したデータ
	ダウンロードしたフレーム、マーカースタンプ
	キャラ電撮影したデータ
	テレビで録画したデータ
	PDFデータから画面切り出しして取得したデータ

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	QVGAサイズの動画／ｉモーションデータ（ｉモーションの各フォルダでのみ表示可）
	VGAサイズの動画／ｉモーションデータ（ｉモーションの各フォルダでのみ表示可）
	ｉモードメールに添付できるデータ（2Mバイト以下）
	デコメール®に挿入できるデータ
	画面などに設定できるデータ
	着信音に設定できるデータ
	赤外線送信、ｉC送信が可能なデータ
	microSDカードにコピー可能なデータ
	編集可能なデータ
	microSDカードに移動可能なｉモーションデータ
	10Mバイト超（10Mバイトは含みません）のデータ（microSDフォルダでのみ表示可）

：ｉモーション保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

：ｉモーション保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

■ファイル形式について

フォルダ	ファイル形式
マイピクチャ	
INBOX	JPEG、GIF、SWF
カメラ	
デコメピクチャ	
デコメ絵文字	JPEG、GIF
おまかせデコメ	
プリインストール	JPEG、SWF
シークレット	JPEG、GIF、SWF
ユーザ作成フォルダ	
自作アニメ	－
microSD	JPEG、GIF、SWF
フレーム	IFM
スタンプ	
ｉモーション	
INBOX	MP4
カメラ	
シークレット	
ユーザ作成フォルダ	
microSD	MP4、ASF（ASF形式は再生のみ可能）
移行可能コンテンツ	SB1
プログラム	－
テレビ	
イメージ	JPEG
ビデオ	MPEG2-TS
着信メロディ	
INBOX	SMF、MFi
プリインストール	MFi
ユーザ作成フォルダ	SMF、MFi
おしゃべり	－
microSD	SMF、MFi
プログラム	－
音楽（ミュージック）	
プレイリスト	－
INBOX	3GP
SD-Audio	SA1
WMA	WMA
移行可能コンテンツ	SB2
ユーザ作成フォルダ	3GP
音楽（Music&Videoチャネル）	
配信番組	3GP、MP4
ユーザ作成フォルダ	
きせかえツール	
－	UCM、UCP

フォルダ	ファイル形式
マイドキュメント	
INBOX	PDF
ユーザ作成フォルダ	
microSD	
キャラ電	
−	AFD

■タイトル、ファイル名について

- 撮影した写真や動画には自動的にタイトルとファイル名が付きます。
  タイトル　：yyyy/mm/dd　hh:mm（年/月/日　時刻※）
  ファイル名：yyyymmddhhmmxxx
  　　年月日時刻※
  （写真の場合、xxxの部分に3桁の数字が付きます）
  ※：写真は保存を完了した時刻、動画は撮影を終了した時刻になります。ただし、「自動保存設定」が「OFF」の場合は、動画を保存した時刻になります。
- ダウンロードしたｉモーションやキャラ電にはオリジナルのタイトルが付きます。
- ダウンロードした画像にはファイル名と同じタイトルが付きます。
- テレビで録画したビデオや静止画のタイトル、ファイル名について→P.287
- タイトルはFOMA端末の画像一覧画面に表示される名前です。
- ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示される画像データの名前です。
- ファイル名に不正な文字があるときは、ファイル名は「imagexxx」あるいは「moviexxx」となります。

■ファイル制限について

撮影した写真や動画またはメロディをメールに添付して送信したとき、受信者のFOMA端末から再配布（添付、転送）できるかどうかを設定します。「なし」に設定すると、受信者は自由に再配布できますが、「あり」に設定すると、再配布はできなくなります。

- 保存後もファイル制限の設定を変更することができます。→P.308、314、324

機能 画像一覧画面（P.304）／マイピクチャ画面（P.304）

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

イメージ編集→P.311

タイトル編集※1……画像のタイトルを編集します。

イメージ表示※1……画像を表示します（マイピクチャ画面を表示します）。

イメージ貼付……画像を待受画面などに設定します。
設定した項目には★が表示されます。
「画面の表示を変える」→P.114
「テレビ電話中に送信する画像を設定する」→P.85

イメージ情報……画像のファイル名、保存日時などを表示します。

ｉモードメール作成※2……画像を添付するか本文内に挿入するかを選択してｉモードメールを作成します。→ P.309

ｉC送信→P.344

赤外線送信、IrSS→P.342

画像表示設定※3……画像の表示サイズを設定します。

- **標準**……画像のサイズに合わせて表示します。
- **画面サイズで表示**……画像のサイズによらず、画面のサイズに合わせて表示します。

通常モード⇔全画面モード※3……「全画面モード」の場合、縦長画像はそのままの向きで表示されますが、横長画像は、右に90度回転させて表示されます。「通常モード」の場合、縦長画像・横長画像ともに、そのままの向きで表示されます。

デスクトップ貼付→P.123

microSDへコピー→P.331

電話帳イメージ登録……画像を電話帳に登録します。→P.93

ファイル名編集※1……画像のファイル名を編集します。
半角の英字、数字と記号（“-”、“_”のみ）で入力できます。

次ページにつづく

ファイル制限※1……保存した写真を再配布できるかどうかを設定します。→P.307

フォルダ移動※1……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、画像をほかのフォルダに移動します。

保存容量確認※1……画像の保存容量などを表示します（FOMA端末の容量にシークレットの容量は含まれません）。

ソート※1……選択した条件に従って画像を並び替えます。

タイトル名一覧⇔ピクチャー一覧※1……タイトル名一覧／ピクチャー一覧を切り替えます。

4枚画像合成※1→P.310

リトライ※3……アニメーションを表示しているとき、そのアニメーションを最初から再生します。

お預りセンターに保存※1→P.309

削除※1……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

1件削除※3……画像を1件削除します。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※1※4……「各種データを表示できないようにする」→P.138

本体へコピー※5→P.332

DPOF設定※5→P.336

コピー※1※5……「microSDカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.333

※1：画像一覧画面でのみ利用できます。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：マイピクチャ画面でのみ利用できます。
※4：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。
※5：microSDカードに保存されている画像のときのみ利用できます。

おしらせ

＜タイトル編集＞
- microSDカードの空きデータ容量が少ないときは、タイトル編集できない場合があります。
- 内蔵されている画像はタイトル編集できません。

おしらせ

＜イメージ貼付＞
- INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像の場合は、以下の画面に設定できます。
  - 待受画面、ウェイクアップ表示
  - 電話・テレビ電話の発信／着信
  - メールの送信／受信／問い合わせ／受信結果
  - テレビ電話の応答保留／通話中保留／代替画像／伝言メモ／伝言準備／音声メモ
  ※画像の種類によっては設定できない場合があります。
- 以下の画像はイメージ貼付できません。
  - 横または縦が854ドットより大きな画像
  - ファイル容量が100Kバイトを超える画像（待受画面、ウェイクアップ表示を除く）

＜通常モード／全画面モード＞
- GIF形式のアニメーション、SWF形式の画像は、通常モードと全画面モードを切り替えても表示は変わりません。

＜電話帳イメージ登録＞
- 以下の画像は設定できません。
  - 横または縦が854ドットより大きな画像
  - ファイル容量が100Kバイトを超える画像
- JPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

＜ファイル名編集＞
- 以下の画像はファイル名編集できません。
  - 内蔵されている画像
  - 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した画像
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像
- ファイル名に半角スペースを使用することはできません。

＜ファイル制限＞
- 以下の画像はファイル制限を設定できません。
  - JPEG形式、GIF形式以外の画像
  - 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した画像
  - FOMAカードセキュリティ機能が設定された画像
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像

おしらせ

<ソート>

●「ファイル取得元順」を選択した場合、以下の順にソートされます。

①ダウンロードしたり、ｉアプリやトルカから取得した画像

②カメラで撮影した写真

③赤外線通信やｉC通信、microSDカードなどで取得した画像

④キャラ電撮影した画像

⑤PDFデータから切り出した画像

⑥お買い上げ時に登録されている画像

●画像をお預かりセンターに保存する

FOMA端末内に保存されている画像などをお預かりセンターに保存します。

●電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。

❶画像一覧画面（P.304）▶ch［機能］▶「お預りセンターに保存」▶◎で画像を選択▶✉［完了］

画像は最大10件まで選択できます。

❷端末暗証番号を入力▶「YES」

お預かりセンターに接続して画像の保存を開始します。

❸✉［完了］

おしらせ

●1件あたりのファイル容量が100Kバイトを超える画像、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、お買い上げ時に登録されているデコメ®ピクチャやデコメ®絵文字は保存できません。

■画像を復元する

お預かりセンターに預けている画像データは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

●画像を添付または挿入してｉモードメールやデコメール®を作成する

保存した画像をｉモードメールに添付したり、デコメール®の本文に挿入します。

❶画像一覧画面（P.304）▶ch［機能］▶「ｉモードメール作成」▶以下の項目から選択

画像添付……横240×縦320、横320×縦240ドット以下の画像はそのままｉモードメールに添付します。これより大きな画像は添付方法を以下の項目から選択します。

そのまま添付……画像サイズを変更しないで、そのまま添付します。

QVGA縮小添付……画像の縦横の比率を保持したまま、横240×縦320、横320×縦240ドット以下のサイズに縮小して添付します。

画像挿入……横96×縦128、横128×縦96ドット以下の画像、ファイル容量が90Kバイト以下の画像はそのままデコメール®の本文に挿入します。これより大きな画像は挿入方法を以下の項目から選択します。

そのまま挿入……画像サイズを変更しないで、ファイル容量を90Kバイト以下に変換して挿入します。ただし、変換しても90Kバイトを超えてしまう画像の場合は選択できません。

SubQCIF縮小挿入……画像の縦横の比率を保持したまま、横96×縦128、横128×縦96ドット以下のサイズに縮小して挿入します。ファイル容量が最大容量を超える場合は、ファイル容量も変更します。

❷処理された画像を確認▶■［確定］▶メールを作成

■そのまま添付／そのまま挿入を選択した場合

画像の確認操作はありません。

「ｉモードメールを作成して送信する」→P.204

「デコメール®を作成する」→P.207

●4枚の画像を1枚の画像に合成する

●横もしくは縦が、横352×縦288ドットより大きな画像は設定できません。ただし、以下のサイズは設定できます。
- VGA（640×480）、VGA縦（480×640）
- フルスクリーン（240×427）
- CIF縦（288×352）
- QVGA縦（240×320）

❶画像一覧画面（P.304）▶ch［機能］▶「4枚画像合成」

❷配置する位置を選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して4枚の画像を選択

■設定した画像を解除する場合
▶解除する画像を選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

❸✉［完了］▶■［保存］

■4枚合成をし直す場合
▶✉［取消］

アニメーションを作成する〈自作アニメ〉

登録されている画像を使って20フレームまでのアニメーションを作成します。

●横854×縦854ドット以下のJPEG形式の写真や画像を自作アニメに設定できます。

●20件まで作成できます。

❶MENU▶「データBOX」▶「マイピクチャ」▶「自作アニメ」

自作アニメ一覧画面

機能メニュー➡P.310

❷「<未登録>」

❸フレームを選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して画像を設定

■設定した画像を解除する場合
▶解除するフレームを選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

❹✉［完了］

機能 自作アニメ一覧画面（P.310）

タイトル編集……自作アニメのタイトルを編集します。

自作アニメ設定……「<未登録>」を反転しているときは、自作アニメを新規登録します。
作成した自作アニメを反転しているときは、その自作アニメを編集します。

イメージ表示……自作アニメを再生します（自作アニメ再生画面を表示します）。

イメージ貼付……自作アニメを設定する項目を選択します。

イメージ情報……イメージ貼付で設定した自作アニメの設定先を確認します。
設定されていないときは「設定なし」の表示になります。

自作アニメ解除……自作アニメを解除します。

自作アニメを表示する

❶自作アニメ一覧画面（P.310）▶自作アニメを選択

自作アニメを2つ以上登録しているときは、▭で前または次の自作アニメを再生できます。

自作アニメ再生画面

機能メニュー➡P.311

機能 自作アニメ再生画面（P.310）

イメージ貼付……画像を設定する項目を選択します。

画像表示設定……イメージ表示エリアより小さな画像の表示方法を設定します。

- **標準**……実際のサイズで表示します。
- **画面サイズで表示**……画面のサイズに拡大して表示します。

リトライ……アニメーションを最初から再生します。

画像を編集する 〈イメージ編集〉

撮影した写真などを編集します。

●編集できる画像サイズは以下のとおりです。

［フレーム合成］

- 854×480、480×854ドット
- 640×480、480×640ドット
- 352×288、288×352ドット
- 320×240、240×320ドット
- 427×240、240×427ドット
- 176×144、144×176ドット
- 128×96、96×128ドット

［フォトレタッチ、逆光補正、肌色補正］

- 854×480、480×854ドット以下

［マーカースタンプ、文字スタンプ、トリミング、明るさ、回転、サイズ変更］

- 2,592×1,944、1,944×2,592ドット
- 2,304×1,728、1,728×2,304ドット
- 2,048×1,536、1,536×2,048ドット
- 1,616×1,212、1,212×1,616ドット
- 1,600×1,200、1,200×1,600ドット
- 1,280×960、960×1,280ドット
- 854×480、480×854ドット以下

ただし、854×480、480×854ドットより大きい画像は編集前に640×480、480×640ドットに縮小されます。

※上記の記載で編集可能としている画像サイズでも、編集項目によっては編集できない場合もあります。編集できるのは「✂」の付いた画像のみです。なお、編集できないメニューは選択できません。

●フォトモード確認画面の機能メニューで「画像編集」を選択した場合、編集できるのは「フレーム合成」「フォトレタッチ」「肌色補正」「逆光補正」のみです。

❶マイピクチャ画面（P.304）▶ch［機能］▶「イメージ編集」▶以下の項目から選択

フレーム合成→P.312

フォトレタッチ……画像に効果を付けます。

- **シャープ**……よりシャープな感じの画像にします。
- **ソフト**……よりソフトな感じの画像にします。
- **セピア**……セピア調の画像にします。
- **浮き彫り**……レリーフのような浮き彫り効果のある画像にします。
- **ネガ**……ネガ画像にします。
- **ミラー**……左右を反転した画像にします。

マーカースタンプ→P.312

文字スタンプ→P.313

トリミング……一定の大きさに切り出します。

▶切り抜くサイズを選択▶✣で切り抜き枠の位置を調整▶■［確定］

明るさ……↔で画像の明るさを「−2〜+2」の5段階で調節します。

回転……画像を回転させる角度を、「右90度、左90度、180度」から選択します。

サイズ変更……変更する画像サイズを選択します。縦横の比率を保ち、選択したサイズを超えない最大のサイズに拡大／縮小されます。

逆光補正……逆光により暗くなっている部分をはっきりとした画像にします。

肌色補正……肌色の部分を補正し、きれいな画像にします。

i モードメール作成※1※2→P.309

保存※1……編集した画像を保存します。

※1：画像編集後に利用できる機能です。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

次ページにつづく

❷編集後の画像を確認▶■［確定］

❸■［保存］▶「YES」または「NO」

「YES」を選択したときは、編集元の画像に上書きされます。
「NO」を選択したときは、編集元の画像と同じフォルダに新規保存されます。

おしらせ

- 編集を繰り返して行うと、画質が劣化したり、ファイル容量が増える場合があります。
- 画像を編集し、続けてその画像を添付したメールを作成して送信すると、編集した画像はデータBOXに保存されません。送信メール詳細画面で画像を保存できます。→P.219

●フレームを重ねる

- 内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

❶マイピクチャ画面（P.304）▶ch［機能］▶「イメージ編集」▶「フレーム合成」▶フレームを選択

フレームが重なった画像が表示されます。⊡でほかのフレームに変更することができます。

■フレームを180°回転する場合
▶✉［回転］

■設定したフレームを取り消す場合
▶ch［機能］▶「取消」

おしらせ

- トリミングやサイズ変更した画像がフレームと同じサイズのときはフレーム合成できます。

●マーカースタンプを貼り付ける

- 内蔵されているマーカースタンプのほかに、ダウンロードしたスタンプを利用することもできます。
- マーカースタンプを回転したり、拡大／縮小することができます。

❶マイピクチャ画面（P.304）▶ch［機能］▶「イメージ編集」▶「マーカースタンプ」▶マーカースタンプを選択

■マーカースタンプを編集する場合
▶ch［機能］▶以下の項目から選択

右90度	……時計回りに90度回転します。
左90度	……反時計回りに90度回転します。
180度	……180度回転します。
拡大	……2倍のサイズに拡大します。
縮小	……1／2のサイズに縮小します。

❷⊕でマーカースタンプの位置を調整▶■［配置］

■ほかのマーカースタンプを貼り付ける場合
▶✉［追加］▶操作1～2を繰り返す

おしらせ

- ダウンロードして使用できるスタンプのサイズは横240×縦240ドット以下の画像となります。それ以外はGIF画像として扱われます。

●文字スタンプを貼り付ける

- 一度に入力できる最大文字数は全角15文字、半角30文字です。入力できる文字数は画像サイズ、文字サイズによって変わります。
- 文字スタンプの色、書体、文字サイズを変更することができます。

❶マイピクチャ画面（P.304）▶ch［機能］▶「イメージ編集」▶「文字スタンプ」▶文字を入力

■文字スタンプを編集する場合
▶ch［機能］▶以下の項目から選択

文字入力……文字を入力します。

文字色……色を設定します。
色パレットを切り替えるときは✉［切替］を押します。

書体……「ゴシック体、明朝体」から選択します。

文字サイズ……大きさを「拡大サイズ、通常サイズ、縮小サイズ」から選択します。

❷⊹で文字スタンプの位置を調整▶●［配置］

おしらせ

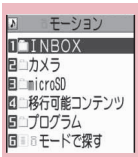
- 文字の太さは「フォント設定」で設定した太さになります。

動画／ｉモーションを再生する〈ｉモーション〉

撮影した動画、ｉモードのサイトやインターネットホームページから取得したｉモーションを再生します。

❶MENU▶「データBOX」▶「ｉモーション」

ｉモーションのフォルダ内容について
→P.302



フォルダー一覧画面

機能メニュー➡P.337

❷フォルダを選択

動画一覧画面の見かた
→P.314

動画一覧画面
（プレビュー表示）

機能メニュー➡P.314

■ｉモードでｉモーションを検索する場合
▶「ｉモードで探す」▶「YES」

■部分的に取得したｉモーションの場合
残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。残りのデータを取得しないと再生ができません。

- 「YES」を選択すると、未取得部分の取得を開始します。
- 「NO」を選択すると動画一覧画面に戻ります。

❸動画を選択

「ミュージックプレーヤー再生画面」が表示され、動画の再生がはじまります。
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.366
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.367

おしらせ

- N-05A以外で撮影した動画は正しく再生できない場合があります。

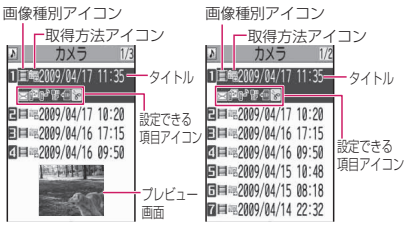
次ページにつづく

おしらせ

- 再生中に着信などがあった場合や[CLR]、[⌐]によって再生を終了した場合は、前回終了位置から再生可能です。ただし、正確な前回終了位置から再生できない場合があります。
- iモーションによってはチャプターを選択して再生することもできます。

プレビュー表示／タイトル一覧の見かた

- 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.305
- タイトル、ファイル名について→P.307



※音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）などは、プレビュー表示されません。

機能 動画一覧画面（P.313）

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

iモーション編集→P.316

タイトル編集……動画のタイトルを編集します。

着信音設定……動画の音声を着信音に設定します。→P.106

待受画面設定……動画を待受画面に設定します。

iモーション情報……iモーションのファイル名、保存日時、microSDカードへの移動可否などを表示します。

iモードメール作成※1……動画を添付してiモードメールを作成します。→P.204

iC送信→P.344

赤外線送信→P.342

microSDへコピー→P.331

microSDへ移動→P.333

フォルダ移動……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、動画をほかのフォルダに移動します。

デスクトップ貼付→P.123

ファイル名編集……動画のファイル名を編集します。
半角の英字、数字と記号（“-”、“_”のみ）で入力できます。

ファイル制限……保存した動画を再配布できるかどうかを設定します。
「ファイル制限について」→P.307

タイトル初期化……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

保存容量確認……動画の保存容量などを表示します（FOMA端末の容量にシークレットの容量は含まれません）。

ソート……選択した条件に従って動画を並び替えます。

一覧表示切替……動画の一覧表示のしかたを選択します。表示されるメニューはFOMA端末とmicroSDカードでは異なります。

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※2……「各種データを表示できないようにする」→P.138

本体へコピー※3→P.332

本体へ移動※4→P.333

コピー※3……「microSDカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.333

※1：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。
※3：microSDカードに保存されている動画のときのみ利用できます。
※4：移行可能コンテンツフォルダに保存されている動画のときのみ利用できます。

おしらせ

＜着信音設定＞

●着信音設定が「可」の動画やｉモーションのみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「ｉモーション情報」で確認できます。

●以下の場合は着信音に設定できません。

- 音声がない動画やｉモーション
- 再生制限ありのｉモーション
- QVGA（320 × 240）より大きく、VGA（640×480）以下のサイズの動画

●VGA（640×480）を超える動画を着信音に設定した場合、設定した画面でｉモーションの画像は表示されません。

●設定可能なｉモーションでも、以下の操作を行った場合は着信音には設定できません。

- 赤外線通信機能、ｉC通信機能やドコモケータイdatalinkなどを使用してパソコンやほかのFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末（本体）に戻した場合
- microSDカードからFOMA端末（本体）にコピーした場合（FOMA端末（本体）からmicroSDカードにコピーしてから、もう一度FOMA端末（本体）にコピーした場合を含む）

＜待受画面設定＞

●以下の場合は待受画面に設定できません。

- 音声だけの動画やｉモーション
- 再生制限ありのｉモーション
- QVGA（320×240）より大きいサイズの動画

＜保存容量確認＞

●表示される容量はおおよその目安です。

＜ソート＞

●「ファイル取得元順」を選択した場合、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンの動画やｉモーションは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。

①ダウンロードしたり、ｉアプリから取得したｉモーション
②カメラで撮影した動画
③赤外線通信やｉC送信、microSDカードなどで取得した動画
④キャラ電撮影した動画

●動画を好きな順に再生する〈動画プログラム再生〉

お好きな動画やｉモーションを25件まで選んで登録しておき、複数の動画を連続して再生します。

●プログラムフォルダは5つあります。

❶フォルダー覧画面（P.313）▶「プログラム」を選択

プログラムフォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.315

❷登録するプログラムフォルダを反転▶ch［機能］▶「プログラム編集」

❸登録する番号を選択▶フォルダを選択▶動画を選択▶操作を繰り返して登録

■登録した動画を解除する場合

▶解除したい動画を選択▶フォルダ選択画面で「ムービー解除」▶「YES」

❹✉［完了］

ｉモーションのプログラムフォルダー覧画面が表示されます。

プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録した動画が繰り返し再生されます。

機能 プログラムフォルダー覧画面（P.315）

プログラム編集……プログラム編集を開始します。すでにプログラムされているときは、動画を変更することができます。

プログラム解除……登録済みの動画を削除し、プログラムを解除します。

動画を編集する〈iモーション編集〉

●「✂」の付いた動画のみ編集できます。

＜例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの動画一覧画面＞

❶動画一覧画面（P.313）▶ch［機能］▶「iモーション編集」

iモーション編集画面

❷ch［機能］▶以下の項目から選択

iモーション切り出し→P.316

iモードメール作成※……動画を添付したiモードメールを作成します。

ファイル制限……「iモーション切り出し」した動画を再配布できるかどうかを設定します。「ファイル制限について」→P.307

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

- 動画編集中は、マルチタスク機能を利用できません。
- 編集によって画質が劣化する場合があります。

●動画の一部を切り出す

❶iモーション編集画面（P.316）▶ch［機能］▶「iモーション切り出し」

❷「任意サイズ」または「500KB」▶✉［始点］

切り出しが開始されます。

■途中の場面から切り出す場合

▶■［再生］▶切り出しをはじめたい場面で■［停止］▶✉［始点］

❸切り出したい最後の場面で■［停止］▶✉［終点］

■「500KB」を選択している場合

500Kバイトに到達すると自動的に停止し、操作5に進みます。

❹切り出した動画が再生される

再生が終わったら自動的に停止します。

❺■［確定］▶■［保存］▶「YES」

おしらせ

- QCIF（176 × 144）より大きなサイズの動画は切り出しできません。

ビデオを再生する〈ビデオプレーヤー〉

テレビで録画したビデオなどは、ビデオプレーヤーで再生します。

❶MENU▶「データBOX」▶「テレビ」▶「ビデオ」

ビデオのフォルダ内容について→P.303

❷microSDフォルダを選択

ビデオ一覧画面の見かた→P.317

ビデオ一覧画面（プレビュー表示）

機能メニュー➡P.317

❸ビデオを選択

ビデオの再生がはじまります。

ビデオ再生中の操作について→P.318

ビデオ再生画面

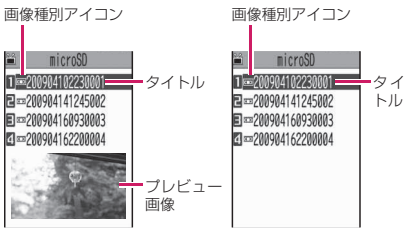
機能メニュー➡P.318

おしらせ

●ビデオの種類によっては正しく再生されない場合があります。

プレビュー表示／タイトル一覧の見かた

●画像種別アイコンについて→P.305
●タイトル、ファイル名について→P.307



機能 **ビデオ一覧画面（P.316）**

タイトル編集……ビデオのタイトルを編集します。

情報表示……ビデオの番組名、録画日時などを表示します。

1件削除、全削除、複数選択……いずれかの削除方法を選択します。

保存容量確認……ビデオの保存容量などを表示します。

一覧表示切替……ビデオ一覧画面の表示のしかたを選択します。

タイトル初期化……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

ビデオ再生画面の見かた

■縦画面表示

■横画面表示

①番組タイトル
②映像
③字幕
④再生位置表示

現在の再生位置を表示します。一時停止中に機能メニューから「再生位置選択」を選択すると白いマーカーが表示され、▶でマーカーを移動して■［確定］を押すと、その位置から再生します。
⑤VIDEO MODE固定表示
⑥再生状態
PLAY：再生中
PAUSE：一時停止中
1.3：早見再生中（1.3倍速）
⑦字幕あり／なし
字幕情報が含まれているときは「字」が表示されます。
⑧音量
ボリュームのレベルを0～20で表示します。

ビデオ再生中の操作について

ボタン操作	動作
■ 9（1秒以上）	画面表示方向の切替 押すたびに、縦画面表示→横画面表示（右90度）→横画面表示（左90度）に切り替わります
✉	一時停止／再生を再開
●	消音（ミュート）
▲［マナー］ ▼［MUSIC］	音量調節
▷	1.3倍速で早見再生／通常再生に戻る 一時停止中はコマ送り
◁	1.3倍速で早見再生／通常再生に戻る
◁（1秒以上）	30秒巻戻し※
▷（1秒以上）	30秒早送り※
／（1秒以上）	字幕表示設定ON／OFFの切替
CLR	終了

※：再生時間が30秒未満の場合は操作できません。

機能 ビデオ再生画面（P.316）

●本機能メニューは一時停止中に利用できます。

情報表示……ビデオの番組名、録画日時などを表示します。

字幕表示設定※……字幕の表示方法を「ON（横全画面：下）、ON（横全画面：上）、OFF」から選択します。

通常再生……通常速度で再生します。

早見再生（1.3倍速）……1.3倍速で早見再生します。

停止……再生を終了します。

再生位置選択……再生位置表示を◁▷で調節し、再生位置を選択します。

主／副音声設定……音声の出力方法を選択します。

アイコン常時表示設定※……横画面表示（P.283）で、番組タイトル以外のアイコンを常時表示するかどうかを設定します。

※：設定内容はテレビの同機能にも反映されます。

キャラ電とは

テレビ電話をお使いのときに、相手のFOMA端末に自分側のカメラ映像を送る代わりにキャラクタを代替画像として送信します。

キャラ電を表示する

●キャラ電をダウンロードする→P.192

❶ MENU▶「データBOX」▶「キャラ電」▶キャラ電を選択

■キャラ電の一覧／表示画面

キャラ電一覧画面

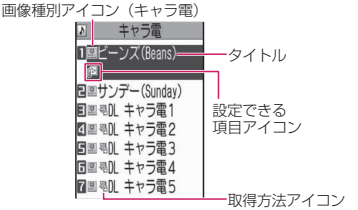
機能メニュー➡P.320

キャラ電表示画面

機能メニュー➡P.320

キャラ電一覧の見かた

●画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.305
●タイトル、ファイル名について→P.307



キャラ電を操作する

用意されているいろいろなアクションから選択して再生できます。

❶ キャラ電表示画面（P.318）▶キャラ電を操作する

■アクション一覧を確認する場合

▶[＊]

一覧表示されるアクションは、キャラ電の種類によって異なります。

アクション一覧でアクション名の右にある「1」や「#1」などは、キャラ電表示中にそのダイヤルボタンを押すと、対応するアクションを再生することを示しています。

＜アクションの詳細を確認する場合＞

▶アクションを反転▶[✉][詳細]▶詳細を確認▶[ch][閉]

■アクションモードを切り替える場合

▶[✉][パーツ／全体]

が表示されているときはパーツアクションモードに、 が表示されているときは全体アクションモードに切り替わります。

（全体アクション）：感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。

（パーツアクション）：頭や手足などのキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。

■キャラ電表示中にダイヤルボタンでアクションを選択する場合

キャラ電表示中の画面で以下のダイヤルボタンを押してアクションを再生します。

「全体アクション」：アクション一覧でアクション名の右にある1桁の数字（[1]～[9]）または[#][1]～[#][9]

「パーツアクション」：アクション一覧でアクション名の右にある2桁の数字（[1][1]～[9][9]）

＜例：全体アクション「怒る」を選択する場合＞

※キャラ電は正像表示です。

[✉][全体] ➡ [4] ➡

＜例：パーツアクション「顔アップ」を選択する場合＞

[✉][パーツ] ➡ [1][2] ➡

■音声に合わせてキャラ電の口の動きに変化を付ける場合

キャラ電によっては、送話口からの音声に合わせてキャラ電も一緒に話しているような口の動きを与えることができるものもあります。

機能メニューやダイヤルボタンを押してアクションの再生が行われた場合は、送話口からの音声よりも選択したアクションの動きが優先されます。

キャラ電一覧画面（P.318）
機能 ／キャラ電表示画面（P.318）

キャラ電発信……キャラ電を代替画像としてテレビ電話をかけます。
キャラ電発信画面では電話番号の入力以外に[メール]を押すと、着信履歴、リダイヤル、電話帳から電話番号を検索できます。

代替画像設定……キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。

キャラ電撮影→P.320

タイトル編集※1……キャラ電のタイトルを編集します。

キャラ電切替※2……表示するキャラ電を選択します。

アクション一覧※2……アクション一覧を表示します。

アクション切替※2……アクションモードを切り替えます。

キャラ電情報……キャラ電のファイル名、保存日時などを表示します。

保存容量確認※1……キャラ電の保存容量などを表示します。

デスクトップ貼付→P.123

画像表示設定

等倍表示……実際のサイズで表示します。

画面サイズで表示……画面のサイズに拡大して表示します。

タイトル初期化※1……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

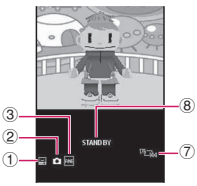
削除※1……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1：キャラ電一覧画面でのみ利用できます。
※2：キャラ電表示画面でのみ利用できます。

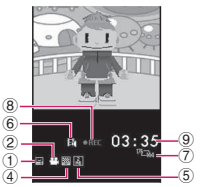
キャラ電を画像／動画として保存する 〈キャラ電撮影〉

■キャラ電撮影画面の見かた

画像撮影の場合



動画撮影の場合



①現在選択されているアクションモード
：全体アクション
：パーツアクション
②撮影モード
：画像撮影
：動画撮影
③「画像保存設定」の設定
：ノーマル
：ファイン
：スーパーファイン
④「動画保存設定」の設定
：標準
：画質優先
：時間優先
：動き優先
⑤「ファイルサイズ設定」の設定
：500KB以下
：2MB以下
⑥「撮影種別設定」の設定
：映像＋音声
：映像のみ
⑦「画像サイズ選択」に設定しているサイズを表示
：QCIF（176×144）
：縮小サイズ（117×96）
⑧撮影の状態
：スタンバイ
：撮影中
⑨残り撮影時間が「分：秒」で表示（撮影前は非表示）

●画像を撮影する

❶キャラ電表示画面（P.318）▶ch［機能］▶「キャラ電撮影」

キャラ電撮影画面（画像）

機能メニュー➡P.322

❷アクションを操作▶■［撮影］

アクションの操作について→P.319

■パーツアクションにする場合

▶✉［パーツ］

■撮影した画像を添付／挿入したｉモードメールを作成する場合

▶✉［MAIL］▶「画像添付」または「画像挿入」

■撮影し直す場合

▶CLR

❸■［保存］

撮影した画像は、マイピクチャのカメラフォルダに保存されます。

●動画を撮影する

❶キャラ電撮影画面（画像）（P.321）▶ch［機能］▶「ムービーモード」

キャラ電撮影画面（動画）

機能メニュー➡P.322

❷■［撮影］▶アクションを操作

アクションの操作について→P.319

■パーツアクションにする場合

▶✉［パーツ］

❸■［終了］

■撮影した動画を添付したｉモードメールを作成する場合

▶✉［MAIL］

■撮影した動画を確認する場合

▶ch［機能］▶「再生確認」

■撮影し直す場合

▶CLR

❹■［保存］

撮影した動画は、ｉモーションのカメラフォルダに保存されます。

おしらせ

- 動画撮影時は画像サイズ（QCIF（176×144））を変更できません。
- 動画撮影中にアクション操作をすると、ボタン操作音がマイクから録音される場合があります。

機能 キャラ電撮影画面（P.321）

キャラ電切替……撮影するキャラ電を切り替えます。

代替画像設定……キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。

アクション一覧……アクション一覧を表示します。

アクション切替……アクションモードを切り替えます。

画像表示設定

- **等倍表示**……実際のサイズで表示します。
- **画面サイズで表示**……画面のサイズに拡大して表示します。

ムービーモード⇔フォトモード……ムービーモードとフォトモードを切り替えます。

画像サイズ選択※1……撮影する画像サイズを選択します。メニューに表示される（）内の数字は横×縦のドット数です。

撮影種別設定※2

- **映像+音声**……映像と音声両方の動画を撮影します。
- **映像のみ**……映像のみの動画を撮影します。

動画保存設定※2

- **標準**……標準の画質、撮影時間で撮影します。
- **画質優先**……よりよい画質で撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。
- **時間優先**……撮影する時間を長くしたいときに選択します。画質は標準より劣ります。
- **動き優先**……よりスムーズな動きで撮影したいときに選択します。

画像保存設定※1……画像を撮影するときの画質を「ノーマル、ファイン、スーパーファイン」から選択します。

ファイルサイズ設定※2

- **500KB以下**……500Kバイトまで撮影することができます。
- **2MB以下**……2Mバイトまで撮影することができます。

※1：フォトモードでのみ利用できます。
※2：ムービーモードでのみ利用できます。

おしらせ

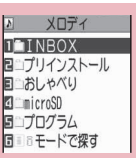
<キャラ電切替>
- キャラ電を切り替えると、アクションモードは全体アクションモードになります。

メロディを再生する 〈メロディ〉

内蔵メロディや効果音、サイトなどからダウンロードしたメロディは、データBOXのメロディで再生します。

❶ MENU▶「データBOX」▶「着信メロディ」

メロディのフォルダ内容について→P.303



フォルダー覧画面

機能メニュー➡P.337

❷ フォルダを選択

メロディー覧の見かた→P.323

■ｉモードでメロディを検索する場合
- ▶「ｉモードで探す」
- ▶「YES」

メロディー覧画面

機能メニュー➡P.324

❸ メロディを選択

メロディの再生がはじまります。
「メロディ再生中の操作について」→P.323

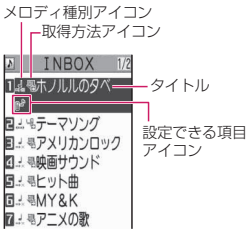
メロディ画面

機能メニュー➡P.324

おしらせ

- 再生中の音量は、着信音量の「電話」で設定した音量になります（「消去」または「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で再生します）。

メロディー覧の見かた



■メロディ種別アイコン

アイコン	説明
	MFi／SMFのメロディ

：ファイル制限が設定されていたり、メールへの添付、FOMA端末外への出力が禁止されているデータ

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	プリインストールされているメロディ
	サイトなどから取得したメロディ
	赤外線通信やｉC通信、microSDカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したメロディ

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	ｉモードメールに添付できるメロディ（2Mバイト以下）
	着信音に設定できるメロディ
	赤外線通信とｉC通信で送信可能なメロディ
	microSDカードにコピー可能なメロディ

■タイトル、ファイル名について

サイトなどから取得したメロディにはオリジナルのタイトルが付きます。

タイトルはFOMA端末のメロディー覧画面に表示される名前です。

ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示されるメロディデータの名前です。

ファイル名に不正な文字があるときのファイル名は「melodyxxx」（xxx：3桁の数字）になります。

ファイル名の末尾3桁の数字は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号として付けられます。

メロディ再生中の操作について

メロディを再生中には以下の操作を行うことができます。

ボタン操作	動作
	前後の曲の再生
（▲［マナー］）、（▼［MUSIC］）	音量調節※
0～9、＊、＃、、、、■、、MENU、ch	再生の停止
CLR	終了

※：再生中に音量を変更しても、メロディを終了すると「着信音量」で設定されている音量に戻ります。

機能 メロディー覧画面（P.322）／メロディ画面（P.322）

●機能メニューはメロディが保存されているフォルダによって変わります。

タイトル編集※1……メロディのタイトルを編集します。

ファイル名編集※1……メロディのファイル名を編集します。
半角の英字、数字と記号（"-"、"_"のみ）で入力できます。

メロディ再生※1……メロディを再生します（メロディ画面を表示します）。

着信音設定……メロディを設定する項目を選択します。

ファイル制限※1……保存したメロディを再配布できるかどうかを設定します。→P.307

連続再生設定※2……同じフォルダ内のメロディを続けて再生します。

デスクトップ貼付→P.123

iモードメール作成※3……メロディを添付したiモードメールを作成します。→P.204

iC送信※1→P.344

赤外線送信※1→P.342

microSDへコピー→P.331

本体へコピー※4→P.332

メロディ情報……メロディのファイル名、保存日時などを表示します。

保存容量確認※1……メロディの保存容量などを表示します。

コピー※4……「microSDカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.333

タイトル初期化※1……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

ソート※1……選択した条件に従ってメロディを並び替えます。

フォルダ移動※1……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、メロディをほかのフォルダに移動します。

削除※1……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1：メロディー覧画面でのみ利用できます。
※2：メロディ画面でのみ利用できます。
※3：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4：microSDカードに保存されているメロディのときのみ利用できます。

おしらせ

＜ファイル名編集＞
●ファイル制限が「あり」に設定されているメロディは、ファイル名編集できません。ただし、赤外線通信やiC通信、OBEX™通信で受信したメロディはファイル名編集できます。

＜着信音設定＞
●メロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。データBOXのメロディで再生を行うと、すべてのメロディを再生できます。

＜ソート＞
●「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンのメロディは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
①ダウンロードしたり、iアプリから取得したメロディ
②赤外線通信やiC通信、microSDカードなどで取得したメロディ

●メロディを好きな順に再生する〈メロディプログラム再生〉

お好きな曲を10曲まで選んで登録しておき、複数の曲を連続して再生します。

❶フォルダー覧画面（P.322）▶「プログラム」を反転▶ch【機能】▶「プログラム編集」▶登録する番号を選択▶フォルダを選択▶メロディを選択▶操作を繰り返して登録

■登録したメロディを解除する場合
▶解除したいメロディを選択▶フォルダ選択画面で「メロディ解除」

❷✉【完了】
メロディのフォルダー覧画面が表示されます。
プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録したメロディが繰り返し再生されます。

おしらせ

- プログラムに登録されているメロディのタイトルおよびファイル名を変更、またはデータを削除すると、プログラム再生が解除されます。

きせかえツールを管理する〈きせかえツール〉

サイトからダウンロードしたきせかえツールパッケージの内容を確認します。

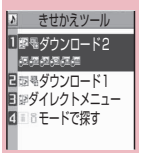
- お買い上げ時には「ダイレクトメニュー」（P.10）が登録されています。
- サイトからのダウンロードについて →P.192

❶ MENU▶「データBOX」▶「きせかえツール」

パッケージ一覧画面の見かた→P.325

■ｉモードでパッケージを検索する場合

▶「ｉモードで探す」▶「YES」



パッケージ一覧画面

機能メニュー ➡P.326

❷ パッケージを選択

■パッケージを設定する場合

▶ch［機能］▶「一括設定」

きせかえツールの設定について→P.128

■部分的に取得したきせかえツールを選択した場合

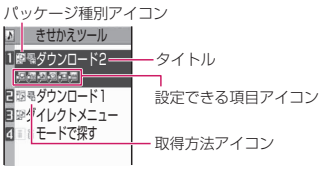
データの取得が中断されたなどの理由により、一部のデータしか取得できなかったきせかえツールパッケージを開こうとすると、残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。残りのデータを追加でダウンロードする場合は、メッセージに従って取得操作を行ってください。

残りのデータの取得が完了すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。なお、残りのデータが正しくないと、データの取得は完了できませんが、この場合でも取得操作を行うと、部分的に保存されていたデータは削除されます。

おしらせ

- 着信音など、音に関する項目を確認する場合の再生中の音量は、「着信音量」で設定した音量になります。ただし、ｉモーションは「消去」または「ステップ」に設定されていると「レベル2」の音量で鳴ります。

パッケージ一覧の見かた



■パッケージ種別アイコン

アイコン	説明
	すべてのデータが取得されているパッケージ
	一部のデータしか取得できなかったパッケージ
	FOMAカードのセキュリティ機能がかかっているパッケージ

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されているデータ
	ダウンロードして取得したデータ

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	待受画面、ウェイクアップ表示
	電話発信画面など（待受画面、ウェイクアップ表示以外の画面）
	着信音や時刻アラーム音
	メニュー
	時計表示
	配色パターン
	電池アイコンなどのアイコン
	文字サイズ
	ミュージックプレーヤー再生画面の背景

機能 パッケージ一覧画面（P.325）

一括設定……きせかえツールを設定します。→P.128

タイトル編集……パッケージのタイトルを編集します。

きせかえツール情報……パッケージのファイル名、保存日時などを表示します。

タイトル初期化……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

画面／音設定初期化……一括設定できる項目（P.128）をお買い上げ時の状態に戻します。

保存容量確認……きせかえツールの保存容量などを表示します。

ソート……指定した条件に従ってパッケージを並び替えます。

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

microSDカード

N-05Aでは市販の2GバイトまでのmicroSDカードに対応しています（2009年2月現在）。microSDカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。

- iモードから
「みんなNらんど」への接続のしかた
→P.179
- パソコンから
http://www.n-keitai.com/
なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

取り扱い上のご注意

※フォーマットは必ずN-05Aで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDカードは、使用できないことがあります。→P.334

- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- microSDカードは、FOMA端末の電源を切った状態で取り付けや取り外しを行ってください。
- microSDカードにラベルやシールを貼らないでください。
- microSDカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

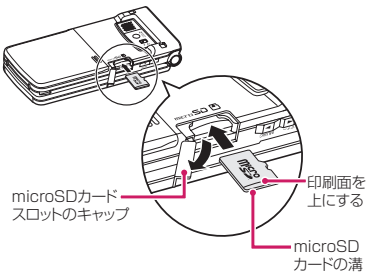
microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMA端末の電源を切った状態で取り付け／取り外しを行ってください。

❶ microSDカードスロットのキャップを開ける

❷ microSDカードスロットにmicroSDカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

microSDカードの印刷面を上にしてゆっくりとまっすぐに差し込んでください。
完全に奥まで押し込むとロックされます。



■取り外す場合

microSDカードを押し込んで手を放すと、microSDカードが少し出てきます。

※このとき、microSDカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

microSDカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜きます。

❸ microSDカードスロットのキャップを閉じる

microSDカードを取り付け後、電源を入れると、「」が表示されます。

おしらせ

- FOMA端末の電源を入れた状態で取り付けたり取り外したりしないでください。microSDカードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。
- microSDカードを取り付けたり取り外したりするときは、microSDカードが飛び出すことがありますので注意してください。
- microSDカードを取り外した後は、必ず付属の保護ケースに入れて保管してください。ほかの保護ケースで保管すると、microSDカードが使用できなくなる場合があります。
- microSDカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください（斜めに差し込むとカードが破損する恐れがあります）。
- microSDカードを取り付けた後、最初に読み込みや書き込みをする場合は時間がかかることがあります。

microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末からmicroSDカードにデータをコピーすると、**別表1**（P.328）のようなフォルダが作成され、データが対応するフォルダに保存されます。また、配下のフォルダ名およびファイル名も**別表1**のように自動的に付与されます。

- パソコンなどからmicroSDカードにデータを書き込む場合も、**別表1**（P.328）のようなフォルダ構成、ファイル名にする必要があります。

おしらせ

- SD_PIMフォルダに複数のデータをコピーした場合は、タイトル名に年月日時分（yyyy/mm/dd hh:mm）が自動的に付与されます。
- パソコンなどからMMFILEフォルダに映像付きの動画を保存することはできますが、FOMA端末で再生できません。
- パソコンなどで編集したファイルをmicroSDカードに保存するとき、**別表1**（P.328）のフォルダ名、ファイル名とは異なる文字を使用すると、N-05Aでは正しく表示、再生できない場合があります。
- microSDカードのフォーマットなどを行い、SDVIDEO.DATファイル、MMFILE. DATファイルまたはDCIM.DATファイルが削除された場合、microSDカード内の保存先フォルダの設定は解除されます。その際は「画像保存先選択」または「動画保存先選択」で設定し直してください。
- microSDカードのフォルダをパソコンなどで削除したり、移動したりしないでください。N-05AでmicroSDカードが読めなくなる場合があります。
- ほかの機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、ほかの機器で表示、再生できない場合があります。
- microSDカードリーダー／ライターおよびPCカードアダプタについては、N-05Aで対応しているmicroSDカードとの動作を各メーカーにご確認の上お買い求めください。

[別表1] microSDカードのフォルダ構成と格納ファイル

- 格納ファイルの説明の後に（　）内で示したのは、ファイルの拡張子です。
- パソコンでフォルダ／ファイルを操作する場合、表中に示した規則に従ってください。異なる文字を使用すると、FOMA端末で正しく扱われない場合があります。

※規則中の英小文字イタリック体は、以下のような半角の英数字になります。
aaa：100～999　*bbbb*：0001～9999　*ccc*：001～FFF（16進数）
ddd：001～999　*eeeee*：00001～65535

フォルダ構成			格納ファイル
DCIM			「ピクチャ」内の画像（JPG、GIF） **フォルダ名**：*aaa*NECDT　**ファイル名**：NEC_*bbbb*
MISC			DPOF印刷の設定ファイル
SD_VIDEO			「SDビデオ」内の動画／ｉモーション（3GP、SDV、MP4、ASF） **フォルダ名**：PRL*ccc*　**ファイル名**：MOL*ccc* 「テレビ」内のビデオ（MAI、MOI、SB1、PGI） **フォルダ名**：PRG*ccc*　**ファイル名**：PRG*ccc*、MOV*ccc* ※「MGR_INFO」はビデオの付加情報
PRIVATE	DOCOMO	STILL	「イメージボックス」内の画像（JPG、GIF、SWF） **フォルダ名**：SUD*ddd*　**ファイル名**：STIL*bbbb*
		MMFILE	「マルチメディア」内の動画／ｉモーション（AAC形式の音楽データ含む）（3GP、SDV、MP4、ASF） **フォルダ名**：MUD*ddd*　**ファイル名**：MMF*bbbb*
			WM：WMAデータ WM_SYSTEM：WMAライセンス情報
		DECOIMG	デコメ®絵文字（JPG、GIF） **フォルダ名**：DUD*ddd*　**ファイル名**：DIMG*bbbb*
		OTHER	「SDその他」内の画像やファイル（PNG、BMP） **フォルダ名**：OUD*ddd*　**ファイル名**：OTHER*ddd*
		RINGER	メロディ（MID、MLD） **フォルダ名**：RUD*ddd*　**ファイル名**：RING*bbbb*
		TORUCA	トルカ（TRC） **フォルダ名**：TRC*ddd*　**ファイル名**：TORUC*ddd*
		TABLE	各ファイルの付加情報
		DOCUMENT	PDFデータ（PDF、一部のみのデータ：$DF、定義ファイル：DDF） **フォルダ名**：PUD*ddd*
		DICT	ユーザ辞書情報（SVD）　**ファイル名**：DICT*ddd*
	NEC	SAVEDIR	保存先フォルダ設定情報（DAT）
		IM_DATA	文字入力学習データ（NIM）　**ファイル名**：NECIM*ddd*
SD_PIM			PIMデータ（電話帳：VCF、メール：VMG、テキストメモ：VNT、ブックマーク：VBM、スケジュール・To Doリスト：VCS） **ファイル名**：PIM*eeeee*
SD_BIND			移動可能なｉモーション／着うたフル®や、ｉアプリ関連データ **フォルダ名**：SVC*eeeee*
SD_AUDIO			SD-Audioデータ

●microSDカードに保存できる件数について

microSDカードに保存できる件数は、ご使用になるmicroSDカードのメモリ容量によって変わります。1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数および追加できるフォルダの最大件数は以下のとおりです。

フォルダ名	フォルダ最大件数	1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数
DCIM	900件	9,999件
SD_VIDEO PRL PRG	4,095件 99件	4,095件 4件
STILL	999件	9,999件
MMFILE	999件	9,999件
DECOIMG	999件	9,999件
OTHER	999件	999件
RINGER	999件	9,999件
TORUCA	999件	999件
DOCUMENT	999件	999件
DICT	1件	999件
IM_DATA	1件	999件
SD_PIM	1件	65,535件

- フォルダを追加して、コピーする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。
- microSDカードの空きデータ容量が不足していると、データをコピーしたり移動することはできません。
- microSDカード内の容量がいっぱいの場合、写真や画像、動画やiモーションのフォルダ追加やタイトル編集などはできません。
- 音楽データをFOMA端末からmicroSDカードにコピーすることはできません。
- コピー先／保存先のフォルダ内のファイルが最大件数になっているときは、自動的に新しいフォルダが作成されそのフォルダに保存されます。また機能によっては最新のフォルダに保存される場合もあります。ただし、カメラで撮影後、直接microSDカードに保存する場合は、自動的にフォルダ作成されません。

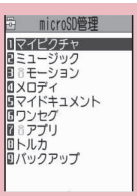
microSDカードのデータを表示する

microSDカードに保存してあるデータを表示します。

＜例：電話帳を表示する場合＞

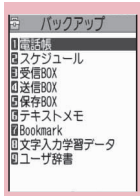
❶ MENU ▶「LifeKit」▶「その他ツール」▶「microSD管理」▶「バックアップ」▶「電話帳」▶ファイルを選択▶データを選択

■microSD管理の一覧／詳細画面



microSD管理画面

機能メニュー➡P.330



バックアップ画面

機能メニュー➡P.330

ファイル一覧画面

機能メニュー➡P.330

データ一覧画面

機能メニュー➡P.330

データ詳細画面

機能メニュー➡P.330

おしらせ

- バックアップ内を表示中は、ほかの機能を起動することはできません。

次ページにつづく

おしらせ

- ｉモードブラウザ画面で登録したBookmarkには「」のアイコンが表示され、フルブラウザ画面で登録したBookmarkには「」のアイコンが表示されます。
- デコメール®は、デコレーションが設定されていない状態で表示されます。
- 文字入力学習データの場合、データ一覧画面、データ詳細画面は表示されません。

機能 microSD管理画面（P.329）

microSD情報表示→P.334

microSDフォーマット→P.334

microSDチェックディスク……microSDカードをチェックし、microSDカードの不具合を修復します。

おしらせ

＜microSDチェックディスク＞

- microSDチェックディスク中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因になります。
- microSDカードによっては修復できない場合があります。
- フォーマットされていないmicroSDカードや、未対応のmicroSDカードはmicroSDチェックディスクできません。
- microSDチェックディスク中は「」が点滅します。
- microSDチェックディスク中に［中止］や を押した場合は、microSDチェックディスクは中止され、「」が表示されます。
- microSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- microSDカード内のデータ量によっては、microSDチェックディスクに時間がかかる場合があります。
- microSDチェックディスクを行うと、microSDカードに保存されているデータのタイトルはファイル名に変更されます。
  タイトル、ファイル名について
  →P.307、323

機能 バックアップ画面（P.329）／ファイル一覧画面（P.329）

タイトル編集※1……ファイルのタイトルを編集します。

追加コピー、上書コピー※1※2→P.332

本体からコピー……項目データをmicroSDカードに全コピーします。

- 「スケジュール」では「スケジュール、To Doリスト、全て」の項目を選択できます。
- 「Bookmark」では「ｉモードブラウザ、フルブラウザ、全て」の項目を選択できます。

microSD情報表示→P.334

削除※1……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1：バックアップ画面では利用できません。
※2：文字入力学習データでは、「追加コピー」は利用できません。

機能 データ一覧画面（P.329）／データ詳細画面（P.329）

追加1件コピー、追加全コピー、上書全コピー※→P.332

microSD情報表示→P.334

※：「追加全コピー」「上書全コピー」は、データ一覧画面でのみ利用できます。

microSDカードとFOMA端末間でデータをコピーする

コピーできるデータについて

■データ

「」などのアイコンが表示されているデータがコピー可能なデータです。

- 画像（マイピクチャ）
  JPEG、GIF、SWF形式のデータ
- ミュージック※
  着うたフル®
- 動画（ｉモーション）
  MP4形式のデータ
- メロディ
  MFi／SMF形式のメロディ
- PDFデータ（マイドキュメント）
- ｉアプリ※

●トルカ

※：microSDカードへのコピーはできません。「microSDへ移動」になります。

■PIMデータ

●電話帳※1※2
●スケジュール※2、To Doリスト
●受信※3／送信※3／保存メール
●テキストメモ
●ブックマーク※3※4
●文字入力学習データ※5
かな漢字変換の学習履歴、ワード予測の学習履歴、T9入力方式の学習履歴
●ユーザ辞書※5

※1：「メモリ番号」は追加コピーの場合、空き番号に登録されることがあります。「グループ番号」「グループ名」は全コピーの場合にコピーできます。「キャラ電」はコピーされません。

※2：コピーの種類によってはシークレット属性（シークレットデータかどうか示すもの）はコピーされない場合があります。

※3：全コピーではフォルダの情報も転送されます。

※4：microSDカードからFOMA端末へコピーした場合、iモードのブックマークは、「iモードメニュー」のBookmarkフォルダに、フルブラウザのブックマークは、「フルブラウザメニュー」のBookmarkフォルダに登録されます。

※5：「バックアップ画面」「ファイル一覧画面」の機能メニューからしかmicroSDカードにコピーできません。

おしらせ

●テレビで録画した静止画はコピーできません。
●microSDカードへのアクセス中はコピーできません。

FOMA端末のデータをmicroSDカードにコピーする

❶各データの一覧画面（電話帳一覧画面など）▶ch［機能］▶「microSDへコピー」▶以下の項目から選択

1件コピー、選択コピー、全コピー※……いずれかのコピー方法を選択します。データによってはコピー先のフォルダを選択します。

※：受信メール、送信メール、ブックマークでは、フォルダ内のデータのみが全コピーされます。すべてのデータをコピーする場合は、フォルダ一覧画面の機能メニューから「microSDへ全コピー」を選択します。

■詳細画面の機能メニューについて

詳細画面の「microSDへコピー」は、一覧画面の「1件コピー」と同機能です。

■バックアップ画面／ファイル一覧画面の機能メニューについて

バックアップ画面／ファイル一覧画面の機能メニュー（P.330）の「本体からコピー」は、電話帳、スケジュール、To Doリスト、保存メール、テキストメモの一覧画面の「全コピー」と同機能です。同じく受信メール、送信メール、ブックマークのフォルダ一覧画面の「microSDへ全コピー」とも同機能です。

おしらせ

●データをmicroSDカードへ全コピーした場合、シークレットで登録されているデータ（電話帳、スケジュール）もコピーされます。ただし、シークレットフォルダのデータはコピーされません。
●マイプロフィールの項目をすべてコピーしたい場合は「全データ表示」を行ってからコピーしてください。
●お買い上げ時に登録されているデータはmicroSDカードへコピーできません。
●保存先フォルダのファイル件数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成されその中に保存されます。
●画像や動画をmicroSDカードへコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合は、microSDカードへのコピーは中断されます。

次ページにつづく

おしらせ

＜画像のコピー＞

- コピー後のファイル名は以下のようになります。
  - ファイル名：NEC_mmmm（mmmm=0001～9999）
- microSDカードへコピーすると、ファイル容量が大きくなる場合があります。
- コピーするとファイル容量が2Mバイトを超える場合、microSDカードへコピーできません。

＜動画のコピー＞

- コピー後のファイル名は以下のようになります。
  - ファイル名：MOLxxx（xxx=001～FFF：16進数）

＜メールのコピー＞

- iアプリの起動指定が貼り付けられているメールをコピーした場合、そのメール内のiアプリ起動に関する情報は削除されます。
- メールをコピーしたとき、メールに添付されているファイルの種類によって、添付ファイルが削除される場合があります。

microSDカードのデータをFOMA端末にコピーする

- 上書コピー（上書 1 件コピー、上書選択コピー、上書全コピー）を行うと、コピー前にあったFOMA端末内の登録データは消去され、選択したmicroSDカード内のデータに入れ替わりますのでご注意ください。
  上書コピーを行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

❶ファイル一覧画面（P.329）▶ch［機能］▶「追加コピー」または「上書コピー」▶以下の項目から選択

追加１件コピー、上書１件コピー……１件のファイル内の全データを追加コピーまたは上書コピーします。

追加選択コピー、上書選択コピー……選択したファイル内の全データを追加コピーまたは上書コピーします。

追加全コピー、上書全コピー……すべてのファイル内の全データを追加コピーまたは上書コピーします。

■文字入力学習データの場合

「上書きコピー」のみ可能です。また、「上書１件コピー、上書選択コピー、上書全コピー」の選択はできません。

■データ一覧画面／データ詳細画面の機能メニューについて

- 「追加１件コピー」は、選択した１件のデータを追加コピーします。
- 「追加全コピー」「上書き全コピー」は、ファイル一覧画面の「追加１件コピー」「上書き１件コピー」と同機能です。

■画像などのデータをコピーする場合

画像一覧画面など各データの一覧画面の機能メニューから「本体へコピー」を選択し、「1件コピー」「選択コピー」「全コピー」からコピー方法を選択します。

おしらせ

＜画像のコピー＞

- 以下の画像はコピーできません。
  - 100Kバイトを超えるSWF形式のFlash画像
  - 2Mバイトを超える画像
  - 横または縦の最大が2,592ドットを超えるか、総ドット数が2,592×1,944ドットを超える画像
  - 横または縦の最大が854ドットを超えるか、総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式、GIF形式の画像

＜動画のコピー＞

- 以下の場合はコピーできません。
  - MP4形式以外の動画のとき
  - 再生できないMP4形式の動画のとき
  - 10Mバイトを超える動画のとき

  ※上記の条件以外でも動画によってはコピーできない場合があります。

＜PDFデータのコピー＞

- 2Mバイトを超えるPDFデータはコピーできません。

＜電話帳のコピー＞

- 電話帳の追加コピーで、microSDカードに登録されているグループ名がFOMA端末に登録されているグループ名と異なるときは、電話帳の「グループなし」に登録されます。

＜スケジュールのコピー＞

- スケジュールを上書きコピーするとTo Doリストのデータも対象となりますが、どちらか一方のデータのみ登録されている場合は、登録されているデータのみ上書きされます。

おしらせ

<メールのコピー>

●送信BOXまたは受信BOXがいっぱいのとき、メールをデータ一覧画面／データ詳細画面から追加1件コピーすると、保護されていない最も古いメールまたは最も古い既読メールが削除されます。

<ブックマークのコピー>

●ブックマークを上書きコピーすると、フルブラウザのブックマークも対象となります（どちらか一方のデータのみ登録されている場合は、登録されているデータのみ削除されます）。

microSDカード内の別のフォルダにデータをコピーする

●コピー先のフォルダは、あらかじめ作成しておく必要があります。→P.337

❶ 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶ch［機能］▶「コピー」▶以下の項目から選択

1件コピー、選択コピー、全コピー……いずれかのコピー方法を選択後、コピー先のフォルダを選択し、データを別のフォルダにコピーします。

おしらせ

●コピーが終了するまではmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因になります。

著作権のあるデータをmicroSDカードとFOMA端末間で移動する 〈コンテンツ移行対応〉

著作権のある移動可能なiモーションや着うたフル®を移動します。

FOMA端末からmicroSDカードに移動する

●移動したiモーション、着うたフル®は、それぞれの移行可能コンテンツフォルダ（P.302）に保存されます。

❶ 動画一覧画面（P.313）／楽曲一覧画面（P.360）▶ch［機能］▶「microSDへ移動」▶以下の項目から選択

1件移動……▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」

選択移動……▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」▶✣で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」

全移動……▶端末暗証番号を入力▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」▶「YES」

microSDカードからFOMA端末に移動する

●移動したiモーション、着うたフル®は、それぞれのINBOXフォルダに保存されます。

❶ フォルダー覧画面（P.313、360）▶「移行可能コンテンツ」▶フォルダを選択▶「ファイルを表示」

「動画一覧画面」／「楽曲一覧画面」が表示されます。

❷ ch［機能］▶「本体へ移動」▶以下の項目から選択

1件移動、選択移動、全移動……いずれかの移動方法を選択します。

次ページにつづく

おしらせ

- 移動処理中はmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
- iモーションや着うたフル®の移動可否は「iモーション情報」(P.314)、「ミュージック情報」(P.361)やアイコン(P.305、360)などで確認できます。

microSDカードの管理について〈microSD管理〉

microSDカードをフォーマットしてFOMA端末で使用できるようにしたり、データの使用状況を確認することができます。

microSDカードをフォーマットする

※フォーマットは必ずN-05Aで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDカードは、使用できないことがあります。

- microSDカードをフォーマットすると、保存されているデータはすべて削除されます。フォーマットをするときは、大切なデータが保存されていないことを確認してください。

❶microSD管理画面(P.329)▶ch[機能]▶「microSDフォーマット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

- フォーマット中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因になります。
- フォーマットを中止したmicroSDカードに対し保存されるデータの保証はいたしかねます。

microSDカードの使用状況を確認する

microSDカードの空きデータ容量および保存データ容量を表示します。

- 表示されるメモリ容量は、ご使用のmicroSDカードに記載されている容量より少なくなります。
- microSDカードに保存できる件数について→P.329

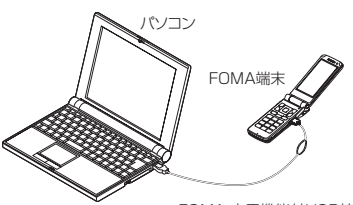
❶microSD管理画面(P.329)▶ch[機能]▶「microSD情報表示」

USBモードを設定する〈USBモード設定〉

パソコンなどとFOMA端末を接続してさまざまな機能を利用するためにUSBモードを設定します。

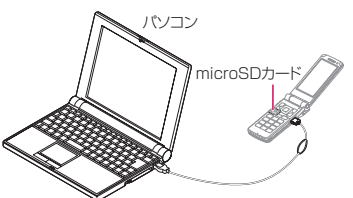
- USBモードには、「通信モード」「microSDモード」「MTPモード」があります。

<通信モード>



FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)

<microSDモード/MTPモード>



FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)

1 MENU▶「設定」▶「その他の設定」▶「外部接続」▶「USBモード設定」▶以下の項目から選択

通信モード……外部接続端子をパケット通信、64Kデータ通信、ケーブル接続によるデータ転送用に使います。
- 「」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02が接続され、パソコンとの間でデータ通信やデータ転送を行う準備ができている場合

microSDモード……外部接続端子をmicroSDカードのリーダー／ライターとして使います。
- 「」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を接続していない場合
- 「」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02が接続されている場合（FOMA端末とmicroSDカード間のコピー、メモリ内のデータ表示、フォーマットなどはできません）

MTPモード……外部接続端子をWMAデータ転送用に使います。
- 「」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を接続していない場合
- 「」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02が接続されている場合

おしらせ
- 電池パックを取り出すと、「通信モード」になります。

microSDリーダー／ライターとして使う

microSDカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDカード内のデータを読み込み／書き込みできます。
- FOMA端末をmicroSDリーダー／ライターとして利用するためには、以下の機器が必要です。

項目	説明
接続ケーブル	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）
パソコン	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1／2.0準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版）

1 MENU▶「設定」▶「その他の設定」▶「外部接続」▶「USBモード設定」▶「microSDモード」

「microSDモード」に設定すると、「」が表示されます。

2 FOMA端末とパソコンを、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02で接続する

「」が表示されます。

パソコンのマイコンピュータに、microSDカードがストレージメモリ（データを保存する外部記憶領域）として表示されます。

パソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外すときは、各OSの安全に取り外す方法を用いてください。

次ページにつづく

■お願い
- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末へデータをコピー中のイルミネーションランプが点滅している状態では、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

microSDカードに保存されている画像の印刷方法を設定する〈DPOF設定〉

microSDカードに保存されている画像をDPOF（Digital Print Order Format）設定します。
- DPOF（ディーポフ）とは、デジタルカメラで撮影した写真を印刷するときの指定方式です。
- FOMA端末で撮影した写真をmicroSDカードに保存し、印刷したい写真とその枚数などを指定しておくと、DPOFに対応したプリンタやプリントサービスのお店で、指定した情報にそって印刷できます。

❶ フォルダー覧画面（P.304）▶「microSD」▶「ピクチャ」▶フォルダを選択▶ch［機能］▶「DPOF設定」

■1件DPOF設定をする場合
画像一覧画面で設定する画像に囲み枠を移動するか、画像を選択してマイピクチャ画面を表示します。マイピクチャ画面で機能メニューを選択した場合は、操作3に進みます。

❷ 設定の種類を選択

1件DPOF設定……1件の画像にDPOF設定します。

選択DPOF設定……DPOF設定する画像を選択します。

❸「プリント指定」▶以下の項目を設定

プリント枚数……印刷枚数（01～99）を入力します。

日付……日付印刷の「あり、なし」を選択します。

■選択している画像に設定されているプリント指定を解除する場合
▶「プリント指定解除」

■保存されている画像すべてのプリント指定を解除する場合
▶「プリント指定全解除」

❹ ✉「完了」

おしらせ
- DPOF設定できる画像は999件までです。ただし、プリンタによっては設定した件数まで印刷できないことがあります。
- 以下の画像にはDPOF設定はできません。
  - 横または縦の最大が2,592ドットを超える画像
  - 総ドット数が2,592×1,944ドットを超える画像
  - ファイルサイズが2Mバイトを超える画像
  - 横または縦の最大が854ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像
  - 総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像
- microSDカードの空きデータ容量が少ないときは、DPOF設定できない場合があります。
- 設定されている印刷枚数は「イメージ情報」で確認できます。

フォルダとデータを操作する

データBOXの各フォルダー覧画面やmicroSDフォルダー覧画面にフォルダを追加して、それぞれのデータを整理することができます。

■移行可能コンテンツフォルダについて

- ミュージックの場合、以下の「機能 各データのフォルダー覧画面」の「フォルダ追加」「フォルダ名編集」「フォルダ削除」「保存容量確認」の機能メニューを利用できます。
- iモーションの場合、以下の「機能 microSDフォルダー覧画面」と同様の機能メニューを利用できます。

フォルダを作成／編集／削除する

機能 各データのフォルダー覧画面

フォルダ追加……フォルダ名を入力してフォルダを追加します。

フォルダ名編集……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。

デスクトップ貼付※1→P.123

フォルダ削除……データが保存されているフォルダも削除できます。

- ミュージックでは端末暗証番号入力後に、削除方法を「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

全削除※2※3……保存したすべてのデータを削除します。ただし、シークレットフォルダに保管したデータは削除されません。

プログラム編集※4……プログラム編集を開始します。「メロディを好きな順に再生する」→P.324

プログラム解除※4……プログラムを解除します。

保存容量確認……使用している容量などを表示します。

※1：ミュージックでのみ利用できます。
※2：マイピクチャでは「画像全削除」、iモーションでは「動画全削除」、メロディでは「メロディ全削除」、マイドキュメントでは「ドキュメント全削除」となります。
※3：ミュージック、ミュージックの移行可能コンテンツフォルダ、Music&Videoチャネルでは利用できません。
※4：メロディのプログラムフォルダ反転時のみ利用できます。

おしらせ

＜フォルダ追加＞

- 移行可能コンテンツフォルダのフォルダ最大件数は65,535件、1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数は65,535件です。

＜フォルダ削除／画像全削除／動画全削除／メロディ全削除＞

- 画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像や動画を「フォルダ削除」または「画像全削除」「動画全削除」で削除しようとしたときや、着信音、アラーム音、プログラムやランダムメロディなどに設定されているメロディを「フォルダ削除」または「メロディ全削除」で削除すると、設定されていた画面などは以下のようになります。
  - 設定されていた画面、着信音、アラーム音はお買い上げ時の設定に戻ります。
  - 自作アニメ、プログラム、ランダムメロディは解除されます。
  - スケジュールのアラーム通知画面は「🕒」を設定したときの画面になります。

機能 microSDフォルダー覧画面

フォルダタイトル編集※……フォルダのタイトルを編集します。

フォルダ作成※……タイトルを入力してフォルダを作成します。

フォルダ削除……フォルダを削除します。

保存容量確認……使用している容量などを表示します。

※：「イメージボックス」や「デコメ絵文字」では利用できません。

おしらせ

- iアプリがmicroSDカードにデータ保存を行っている場合、microSDカード内のデータにアクセスしようとすると、操作できないことを通知するメッセージが表示されます。

＜フォルダ作成＞

- 「イメージボックス」「デコメ絵文字」内のフォルダは、FOMA端末では作成できません。パソコンなどで作成可能です。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

撮影した写真や動画、ダウンロードした各種データなどを保存しようとしたときに、不要なデータを削除して保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。保存するときには不要なデータを削除します。

❶確認メッセージで、「YES」

■保存しない場合

▶「NO」

❷フォルダを選択▶削除するデータを選択

データの種類によっては、データの保存領域を共有しているため、フォルダを選択する前にどのデータを削除するかを選択します。

❸✉［完了］▶「YES」

データを登録するためのメモリ容量が確保できるまで✉［完了］は表示されません。

FOMAカードで電話帳やSMSを管理する〈FOMAカード（UIM）操作〉

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末（本体）やFOMAカードに登録されている電話帳やSMSのデータを削除することもできます。

- データのコピー中、削除中は、音声電話やテレビ電話の発着信、メールの送受信はできません。また、ほかの機能を起動することもできません。
- FOMAカードの電話帳に登録できない項目はコピーできません。
  コピーできる項目や登録件数について
  →P.92
- FOMAカードには、受信SMSと送信SMSを合計20件まで保存できます。

メインメニューから電話帳やSMSをコピーまたは削除する

＜例：電話帳やSMSをコピーする場合＞

❶MENU▶「LifeKit」▶「その他ツール」▶「FOMAカード（UIM）操作」▶端末暗証番号を入力

端末暗証番号を入力すると、着信などの通信動作ができなくなり「圏外」が表示されます。端末暗証番号入力前に着信などの通信動作があった場合は、FOMAカード（UIM）操作を終了します。

❷「コピー」

■削除する場合

▶「削除」

❸「本体→FOMAカード(UIM)」または「FOMAカード（UIM）→本体」

■削除する場合

▶「本体」または「FOMAカード（UIM）」

❹以下の項目から選択

電話帳……電話帳を検索し、一覧画面を表示します。電話帳の検索のしかた→P.96

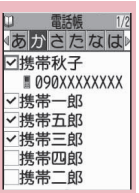
SMS……SMSのデータを選択します。

受信BOX……受信BOXの一覧画面を表示します。

送信BOX……送信BOXの一覧画面を表示します。

❺で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」

FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーする場合は、さらに「YES」を選択します。



FOMAカード（UIM）操作画面
例：電話帳（全検索）

機能メニュー➡P.339

機能 FOMAカード(UIM)操作画面(P.338)

コピー開始※1……コピー操作を開始します。

削除開始※2……削除操作を開始します。

1件選択……データを選択します。

全選択……すべてのデータを選択します。

1件解除……データの選択を解除します。

全解除……すべてのデータの選択を解除します。

詳細表示……データを詳細表示します。

※1：コピー画面でのみ利用できます。
※2：削除画面でのみ利用できます。

電話帳詳細画面から電話帳をコピーする

❶電話帳詳細画面(P.95)▶ch[機能]▶「FOMAカードへコピー」または「本体へコピー」▶「YES」

電話帳の保存先（本体またはFOMAカード）によって、ch［機能］を押したときに表示されるメニューは異なります。

メール画面からSMSを移動またはコピーする

●メール画面でのFOMAカード操作は、受信メール一覧画面・詳細画面、送信メール一覧画面・詳細画面の各画面の機能メニューで行えます。

＜例：本体の受信SMSをFOMAカードに移動またはコピーする場合＞

❶受信メール一覧画面(P.223)▶SMSを反転

❷ch［機能］▶「FOMAカード操作」▶「FOMAカードへ移動」または「FOMAカードへコピー」▶「YES」

■FOMAカード内の受信SMSを移動またはコピーする場合

▶「FOMAカードから移動」または「FOMAカードからコピー」
「受信BOX」フォルダへ移動またはコピーされます。

おしらせ

＜電話帳＞

●FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーすると名前とフリガナに含まれる「カタカナ」は全角に変換されます。名前は全角10文字、半角21文字までがコピーされ、フリガナは全角12文字、半角25文字までコピーされますが、残りの文字はコピーされません。

●FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末（本体）に登録された2番目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。

●FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の文字がスペースや違う文字に変換される場合があります。

●シークレットデータとして登録された電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしても、本機能でコピーはできません。

●FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されている場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。同じグループ名がない場合は、「グループなし」に登録されます。

＜SMS＞

●送信したSMSをコピーした場合は、SMS送達通知もコピーされます。SMS送達通知のみのコピーはできません。

●FOMAカードへ移動またはコピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードへ移動またはコピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。

●2in1のBナンバー宛てのSMSを移動またはコピーした場合は、Aナンバー宛てのSMSとして保存されます。

赤外線通信／ｉC通信について

赤外線通信機能／ｉC通信機能を搭載したほかの機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送します。

- FOMA端末の赤外線通信／ｉC通信によるデータ転送機能はIrMC™1.1規格に準拠しています。ただし、相手機器やアプリケーションの種類によっては、IrMC™1.1規格に準拠していても転送できないデータがあります。
- データの転送方法には、1件ずつ転送する方法と全件をまとめて転送する方法があります。
- 転送できるデータは**別表2**（P.341）のとおりです。

データ転送するときのご注意

- ダイヤルロック中、セルフモード設定中、おまかせロック中、キー操作ロック中は、データ転送できません。また、ICカードロック中はｉC通信を行えません。
- 指定発信制限設定中は、電話帳データを受信できません。ただし、電話帳データの送信の際には、「指定発信制限」を設定した電話帳データ、マイプロフィールの個人データを送信できます。
- 相手側の機器の状態によっては、データ転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定などが反映されなかったり、デコメール®の内容などが正常に登録できない場合があります。
- データ転送中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、パケット通信、64Kデータ通信などはできません。また、データ転送終了後、しばらく圏外の状態が続くことがあります。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。
- 通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。

送受信されるデータについて

- FOMA端末で受信したデータは、**別表2**（P.341）のように保存されます。
- メールや電話帳などに入力されている絵文字や一部の記号は、正しく受信できない場合があります。
- 次のデータは、送受信できません。
  - FOMAカードの電話帳、SMS
  - フレーム、スタンプのデータ（受信のみ可能）
  - FOMAカードのセキュリティ機能が設定されたメロディ、写真（静止画）、動画（ｉモーション）、PDFデータ
  - シークレットフォルダのデータ
- 次のデータは、受信できません。
  - JPEG、GIF、SWF形式以外の写真や画像
  - MP4、3GP形式以外の動画
  - N-05Aで扱うことのできないサイズや容量の写真（静止画）、動画（ｉモーション）、メロディ、PDFデータ
- 写真（静止画）、動画（ｉモーション）、PDFデータのタイトルは全角9文字、半角18文字、メロディのタイトルは全角25文字、半角50文字まで送受信できます。タイトルが最大文字数を超えた場合、超えたぶんの文字が削除されます。
- 電話帳のデータを転送するときは、次のことに注意してください。
  - 電話帳のシークレットコードは転送できません。
  - シークレットデータとして登録された電話帳を1件送信すると、シークレットが解除されて転送されます。
  - 受信した電話帳に登録されていた画像は「マイピクチャ」のINBOXフォルダに登録されます。
- メールのデータを転送するときは、次のことに注意してください。
  - 受信側の機種によっては、メールの題名の一部を受信できない場合があります。
  - 全受信は既存の全メールおよび全ユーザフォルダを削除してから受信します。

- 受信メールの１件受信で受信BOXフォルダの空き容量が不足しているときは、ゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。
- 送信メールの１件受信で送信BOXフォルダの空き容量がないときは、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールに上書きされます。
- データの取得が完了してない添付ファイルが存在する場合は、その添付ファイルは削除されて送信されます。
- ｉアプリの起動指定、メール連動型ｉアプリの貼付情報が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信します。メールに添付されているデータのファイル制限が「あり」の場合、そのデータも削除されて送信されます。また、画像の形式によっては削除されて送信されるものがあります。ただし、送信メールと保存メールの場合で、ケーブル接続で受信したデータ、microSDカードからコピーしたデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。
- メール連動型ｉアプリの受信メールフォルダ、送信メールフォルダは転送できません。フォルダ内のメールはすべて受信BOXフォルダまたは送信BOXフォルダに登録されます。
- 受信メール一覧画面や送信メール一覧画面で設定した「色分け」の設定は転送できません。
- 赤外線通信の場合、2Mバイトを超えるメールは正しく送信できないことがあります。

[別表2] 転送できるデータと受信データの保存場所

データ	1件受信	全受信
写真（静止画）、メロディ	INBOXフォルダの１番目に登録	（全送信不可）
デコメ®絵文字	カテゴリ別に登録（カテゴリの指定がない場合は「お気に入り」に登録）	（全送信不可）
動画（ｉモーション）、PDFデータ	INBOXフォルダに日付順に登録	（全送信不可）
トルカ、トルカ（詳細）	トルカフォルダの１番目に登録	送信元のトルカに置き換え
電話帳、マイプロフィール	電話帳の「010」～「999」の空きメモリ番号の中で最小の番号に登録（すべて登録されているときは、「000」～「009」の空きメモリ番号の中で最小の番号に登録）	送信元の電話帳に置き換え（マイプロフィールのデータも送信され、マイプロフィールのデータ（電話番号を除く）も置き換え）
スケジュール	スケジュールの開始日時に従って登録	送信元のスケジュールに置き換え
To Doリスト	To Doリストの１番目に登録	送信元のTo Doリストに置き換え
受信メール、送信メール	受信BOX／送信BOXフォルダにメールの日付順に登録	送信元の受信BOX、送信BOXに置き換え
保存メール	保存BOXにメールの日付順に登録	送信元の保存BOXに置き換え
テキストメモ	＜未登録＞の１番目に登録	送信元のテキストメモに置き換え
定型文	＜未登録＞の１番目に登録	送信元の定型文に置き換え
ユーザ辞書	ユーザ辞書の１番目に登録	送信元のユーザ辞書に置き換え
ブックマーク（ｉモード、フルブラウザ）	それぞれのBookmarkフォルダの１番目に登録	送信元のBookmarkに置き換え

次ページにつづく

●定型文を受信したときに、自作の定型文がフォルダ3～5すべてに登録済みで、フォルダ1～2の固定定型文がお買い上げ時の状態のままのときは、フォルダ1～2に受信した定型文が上書きされます。
●ブックマークを全受信したとき、送信元の機種によっては、同じ順番で登録されない場合があります。

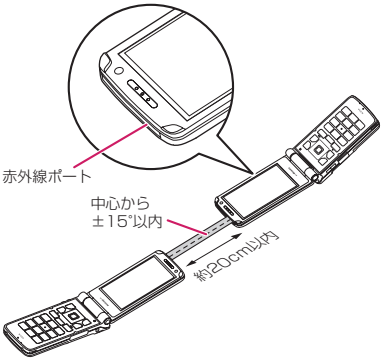
認証パスワードについて

●「全送信／全受信」では、送信側と受信側の機器を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、送信、受信をはじめる前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

赤外線通信でデータを転送する〈赤外線通信〉

赤外線通信でデータ転送するときは

●赤外線ポートが平行に向き合うようにしてください。
●通信終了を通知するメッセージが表示されるまで動かさないでください。また、機器の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
●直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。



赤外線通信でデータを1件ずつ転送する〈赤外線送信／赤外線受信〉

赤外線通信機能を使って、ほかの機器との間でデータを1件ずつ転送します。

●データを1件送信する

送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線送信」を選択します。また、送信するデータがJPEG形式の画像の場合、高速赤外線通信（IrSS™送信）を選択できます。

＜例：画像を1件送信する場合＞

❶マイピクチャ画面（P.304）▶ch［機能］▶「赤外線送信」または「IrSS」

■IrSS™送信について
JPEG形式の画像は画像一覧画面（P.304）で✉［IrSS］を押して送信します。

❷相手側の機器を受信状態にする

❸赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶「YES」

データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■送信を中止する場合
▶「NO」

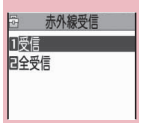
■送信中に中止する場合
▶✉［中止］

おしらせ

●「IrSS」を選択したときは、相手側の機器が正常に受け取れない場合でも、送信側では正常に終了します。

●データを１件受信する

❶ MENU▶「LifeKit」▶「赤外線受信」



赤外線受信画面

機能メニュー➡P.343

❷「受信」▶赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶相手側の機器からデータを受信

データの受信がはじまります。

❸「YES」

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。

受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■受信中に中止する場合

▶✉［中止］

■受信したデータを登録しない場合

▶「NO」

機能 **赤外線受信画面（P.343）**

デスクトップ貼付→P.123

赤外線通信でデータをまとめて転送する　〈赤外線全送信／赤外線全受信〉

赤外線通信機能を使って、ほかの機器との間でデータをまとめて転送します。

- 全受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メール、電話帳やスケジュールのシークレットデータも含めてすべて削除されます。ただし、フレームやシークレットフォルダ内のシークレットデータは消去されません。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことをお確かめください。
- データをまとめて転送すると、受信側ではデータの並び順が変わる場合があります。

●データをまとめて送信する

全送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線全送信」を選択します。

＜例：電話帳のデータを全送信する場合＞

❶電話帳一覧画面（P.95）▶ch［機能］▶「赤外線全送信」

❷端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.342

❸相手側の機器を受信状態にする

❹赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶「YES」

データの全送信がはじまります。

送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■全送信を中止する場合

▶「NO」

■送信中に中止する場合

▶✉［中止］

●データをまとめて受信する

❶赤外線受信画面（P.343）▶「全受信」

❷端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.342

❸赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶「YES」

■全受信を中止する場合

▶「NO」

❹上書き確認画面が表示されたら「YES」

■全受信を中止する場合

▶「NO」

❺ 相手側の機器からデータを全受信

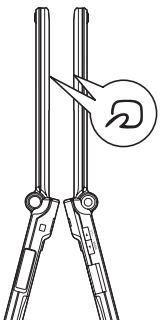
データの全受信がはじまります。
受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。

■受信中に中止する場合
▶✉［中止］

iC通信でデータを転送する 〈iC通信〉

iC通信でデータ転送するときは

- 送信側FOMA端末のマークを受信側FOMA端末のマークに重ね合わせます。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- 相手のFOMA端末によっては、マークを近づけた際に、ディスプレイの表示が消えてしまうことがあります。その場合は、上下左右に少しずらすなどしてください。



iC通信でデータを1件ずつ転送する 〈iC送信／iC受信〉

iC通信機能を使って、ほかの機器との間でデータを1件ずつ転送します。

●データを1件送信する

送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「iC送信」を選択します。

＜例：電話帳のデータを1件送信する場合＞

❶ 電話帳詳細画面（P.95）▶ch［機能］▶「iC送信」

❷ マークを相手側のマークに重ね合わせる▶「YES」

データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■送信を中止する場合
▶「NO」

■送信中に中止する場合
▶✉［中止］

●データを1件受信する

❶ マークを相手側のマークに重ね合わせる ▶ 相手のFOMA端末からデータ送信の操作を行う

データの受信がはじまり、通信状況を示すバーが表示されます。

❷「YES」

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■受信中に中止する場合
▶✉［中止］

■受信したデータを登録しない場合
▶「NO」

iC通信でデータをまとめて転送する 〈iC全送信／iC全受信〉

iC通信機能を使って、ほかの機器との間でデータをまとめて転送します。

●データをまとめて送信する

全送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「iC全送信」を選択します。

＜例：電話帳のデータを全送信するとき＞

❶電話帳一覧画面（P.96）▶ch［機能］▶「iC全送信」

❷端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.342

❸マークを相手側のマークに重ね合わせる▶「YES」

データの全送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■全送信を中止する場合
▶「NO」

■送信中に中止する場合
▶✉［中止］

●データをまとめて受信する

❶マークを相手側のマークに重ね合わせる

❷相手のFOMA端末からデータ全送信の操作を行う

❸端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.342

❹上書き確認画面が表示されたら「YES」

データの受信がはじまり、通信状況を示すバーが表示されます。
受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。

■全受信を中止する場合
▶「NO」

■受信中に中止する場合
▶✉［中止］

ケーブル接続によるデータ転送について 〈OBEX™通信〉

パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続すると、電話帳や画像などの各種データのデータ転送が行えます。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を使ってデータ転送（OBEX™通信）を行うときには、ドコモケータイdatalink（P.438）、および付属のCD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」をインストールする必要があります。
- ドコモケータイdatalinkのインストール方法などの詳細については、同ソフトのダウンロードページをご覧ください。なお、データの転送方法の詳細については、同ソフトのヘルプをご覧ください。
- 「FOMA通信設定ファイル」のインストール方法、およびパソコンの動作環境については、「パソコン接続」、および付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。
- データ転送の前に、「USBモード設定」を「通信モード」に設定しておく必要があります。

次ページにつづく

■お願い

- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データを転送できないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データ転送ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末への全送信の途中で送信エラーが起こると、FOMA端末内の書き込み対象のデータがすべて消去されることがあります。全送信の前にケーブルの接続、FOMA端末の電池レベル、パソコンの電源の状態を確認してください。

電話帳の画像を転送しないように設定する 〈電話帳画像転送〉

赤外線通信機能やｉC通信機能、microSDカードへのコピー、データ転送（OBEX™通信）機能で電話帳のデータを送信するとき、電話帳に登録されている画像を転送しないように設定します。

❶ MENU▶「LifeKit」▶「その他ツール」▶「電話帳画像転送」▶「しない」

■転送する場合

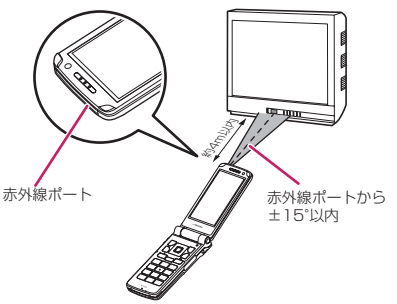
▶「する」

赤外線リモコン機能を利用する

- リモコン機能を利用する場合は、ご使用になる機器に対応したソフトをダウンロードしてください（リモコンのボタン操作はソフトにより異なります）。
- お買い上げ時には「Gガイド番組表リモコン」が登録されています。→P.258
- 機器によってはリモコン操作ができない場合があります。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコン機能を利用できません。

リモコン操作について

- FOMA端末の赤外線ポートを、テレビなどのリモコン受信部の正面に向けてリモコン操作をしてください。操作できる範囲は正面で約4mですが、周囲の明るさによって変わります。



PDFデータを表示する〈マイドキュメント〉

サイトからダウンロードして保存したPDFデータを、PDFビューアで表示できます。また、microSDカードに保存されているPDFデータを表示することもできます。

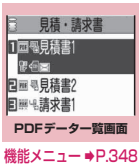
●サイトからのダウンロードについて
→P.190

❶ MENU▶「データBOX」▶「マイドキュメント」▶フォルダを選択

■マイドキュメントの一覧画面

フォルダー覧画面

機能メニュー ➡P.337



PDFデータ一覧画面

機能メニュー ➡P.348

❷ PDFデータを選択

■パスワード入力画面が表示された場合

PDFデータに設定されているパスワードを入力してください。

■ダウンロードを再開するというメッセージが表示された場合

ページ単位で部分的に取得したPDFデータを開こうとしています。残りのページ（データ）を後から追加でダウンロードできます。→P.191

■残りすべてをダウンロードするかどうかのメッセージが表示された場合

データの取得が中断されたなどの理由により一部のデータしか取得できなかった不完全なPDFデータを開こうとしています。残りのデータを追加でダウンロードする必要があります。→P.191

PDFデータ画面

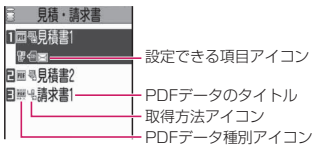
機能メニュー ➡P.351

おしらせ

●ページ単位で部分的に取得したPDFデータを表示中に、まだ取得していないページを表示しようとすると、データの取得（ダウンロード）が行われます。残りページを一括でダウンロードすることもできます。→P.191

●microSDカード内のPDFデータを表示中は、「 」が点滅します。

PDFデーター覧の見かた



■PDFデータ種別アイコン

アイコン	説明
PDF（水色） PDF（青色）	すべてのページが取得されているPDFデータ ※青色で表示されるPDFデータは、ファイルサイズが2Mバイトを超えるPDFデータです。FOMA端末（本体）に保存することはできません。
PDF（水色）	ページ単位で部分的に取得したPDFデータ
PDF（水色）	一部のデータしか取得できなかった不完全なPDFデータ（データ転送不可）

：ファイル制限が設定されているPDFデータ（データ転送や、microSDカードへのコピー不可）

■取得方法アイコン

アイコン	説明
	サイトなどからダウンロードしたPDFデータ
	microSDカード、パソコンなどから取得したPDFデータ

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	メール添付可能なPDFデータ（2Mバイト以下）
	赤外線送信とｉC送信が可能なPDFデータ
	microSDカードにコピー可能なPDFデータ

おしらせ

- microSDカードのフォルダを表示しているときなどに「PDF（青色）」または「PDF（青色）」のアイコンで表示されるPDFデータは、FOMA端末では利用できません。

機能 PDFデータ一覧画面（P.347）

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

タイトル編集……タイトルを編集します。

ドキュメント表示……表示するページを「前回の続きから、初めから、ｉモードしおりから」から選択します。

ドキュメント情報……PDFデータのファイル名、保存日時などを表示します。

残り全てを取得……「部分的に取得したPDFデータを追加で取得する」→P.191

デスクトップ貼付※1→P.123

ｉモードメール作成※2……PDFデータを添付したｉモードメールを作成します。

ｉC送信※1→P.344

赤外線送信※1→P.342

microSDへコピー※1→P.331

フォルダ移動……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、PDFデータをほかのフォルダに移動します。

保存容量確認……使用している容量などを表示します。

ソート※1…… 指定した条件に従ってPDFデータを並び替えます。

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

本体へコピー※3→P.332

コピー※3……「microSDカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.333

※1：microSDカードの一覧画面では利用できません。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：FOMA端末のPDFデータ一覧画面では利用できません。

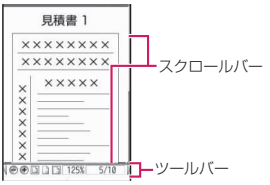
おしらせ

<ソート>

- 「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。
  ①サイトからダウンロードしたPDFデータ
  ②赤外線通信やmicroSDカードから取得したPDFデータ

PDFデータ画面について

PDFデータ画面には、画面の表示位置を確認するためのスクロールバーや、各種の画面操作を行うためのツールバーが表示されます。



画面の操作について

表示倍率の変更など画面の表示変更は、機能メニューだけでなく、各種機能が割り当てられたダイヤルボタンやツールバーアイコンを使って行います。

- ｉモードしおりやマークを設定したり、ページを切り出して保存することもできます。

●スクロールのしかた

■[ ]でスクロールする
[ ]を押すとその方向にスクロールします。

■[▲]［マナー］、[▼]［MUSIC］でスクロールする
[▲]［マナー］を押すと上にスクロールし、[▼]［MUSIC］を押すと下にスクロールします。

●ツールバーの使いかた

8：ツールバー（スクロールバー）の表示／非表示の切り替え
［ツール］：ページ操作からツールバー操作への切り替え
［解除］：ツールバー操作からページ操作への切り替え
：ツールバー操作でのアイコン表示切り替え
：ツールバー操作でのアイコン選択

アイコン	説明
倍率	倍率が表示されます。倍率を指定すると、指定した倍率で表示します。 ■［選択］▶4桁の数字を入力
頁	表示中のページ番号が表示されます。表示するページ番号を指定すると、指定したページへ移動します。 ■［選択］▶4桁の数字を入力
	縮小表示します。
	拡大表示します。
	ページ全体を表示します。
	倍率100%で表示します。
	ページの幅を画面に合わせて表示します。
	最初のページを表示します。
	前のページを表示します。
	次のページを表示します。
	最後のページを表示します。
	文字列を検索します。→P.349
	右に90度回転して表示します。
	左に90度回転して表示します。
	文字列をコピーします。→P.410
	「ページを切り出す」→P.351
	ツールバーやボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。
	単一でページを表示します。
	連続でページを表示します。
	見開きでページを表示します。
	しおり一覧画面を表示します。

●PDFデータ画面の便利なボタン

ボタン	説明
1	縮小表示します。
2	ページ全体を表示します。
3	拡大表示します。
4	前のページを表示します。
6	次のページを表示します。
7	文字列を検索します。→P.349
8	ツールバー、スクロールバーの非表示／表示を切り替えます。
0	ツールバーやボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。
#	次を検索します。
*	前を検索します。

●文字列を検索する

❶PDFデータ画面（P.347）▶［ツール］▶「」を選択▶文字列入力欄を選択▶検索する文字列を入力

一部記号など検索できない場合があります。

❷条件の□（チェックボックス）を選択▶［検索］

検索した文字列が見つかった場合、文字列を含むページが表示されます。
*を押すとページの先頭に向かって同じ条件で検索できます。
#を押すとページの後ろに向かって同じ条件で検索できます。

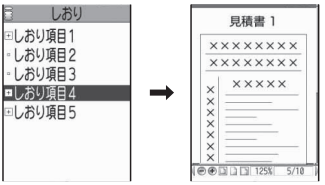
●しおりを使ってPDFデータを表示する

●PDFデータにあらかじめしおりが設定されている場合は、以下の操作で、しおりが設定されている箇所（ページ）に移動できます。

❶PDFデータ画面（P.347）▶✉［ツール］▶「📑」を選択▶表示したいしおりを選択

選択したしおりが設定されている箇所（ページ）が表示されます。

表示しているPDFデータにしおりが1つも設定されていない場合は、しおりがないことを通知するメッセージが表示されます。



⊞のある項目で✉［⊞⋮］を押すと、その下のしおりが表示されます。

●「iモードしおり」を使ってPDFデータを表示する

●iモードしおりは、見たいページ・位置へすばやくジャンプできるように、お客様の好きな位置にしおりを設定する機能です（1つのPDFデータにつき最大10件まで設定できます）。

●iモードしおりを設定した箇所（ページ）に移動するには、以下の操作を行います。

❶PDFデータ画面（P.347）▶ch［機能］▶「iモードしおり」▶表示したいiモードしおりを選択

選択したiモードしおりを設定したときの表示状態（倍率など）で、その箇所（ページ）が表示されます。

■iモードしおりを追加する場合

▶✉［追加］▶「YES」▶iモードしおりのタイトルを入力

現在の表示状態（表示しているページ、倍率など）がiモードしおりとして登録されます。

■iモードしおりのタイトルを変更する場合

▶ch［機能］▶「タイトル編集」▶タイトルを入力

■iモードしおりを削除する場合

▶ch［機能］▶「削除」▶「YES」

■PDFデータに設定されているiモードしおりをすべて削除する場合

▶ch［機能］▶「全削除」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

機能 PDFデータ画面（P.347）

●サイトやメールなどから閲覧した場合や、microSDカード内のデータを閲覧した場合など、利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

ズームアウト……縮小表示します。

ズームイン……拡大表示します。

表示……ページの表示サイズを「倍率指定、全体表示、実際の大きさ、幅にあわせる」から選択します。

ページ移動……表示するページを「最初のページ、前のページ、次のページ、最後のページ、指定のページ」から選択します。

検索……「文字列を検索する」→P.349

ページレイアウト……ページの表示スタイルを「単一ページ、連続ページ、見開きページ」から選択します。

リンク表示……URL、電話番号、メールアドレスを選択するとリンク先にアクセスや電話発信およびｉモードメール作成ができます。
※PDFデータ内にあるリンクを表示させた場合は、画面のスクロールやツールバーの使用ができません。CLRを押すと、通常のPDFデータ画面に戻ります。

ツール／スクロールバー非表示⇔ツール／スクロールバー表示……ツールバー、スクロールバーの非表示／表示を切り替えます。

表示を回転……ページを回転する方向を「右90度、左90度」から選択します。

しおり→P.350

コピー→P.410

ｉモードしおり→P.350

マーク……マークを追加・修正・削除します。マークは最大10件まで設定できます。

画面切り出し……「ページを切り出す」→P.351

ｉモードメール作成※……PDFデータを添付したｉモードメールを作成します。

デスクトップ貼付→P.123

残り全てを取得……「部分的に取得したPDFデータを追加で取得する」→P.191

保存……表示中のPDFデータを保存します。

ヘルプ……ツールバーやボタンに割り当てられた操作説明を表示します。

プロパティ……PDFデータのプロパティを表示します。

終了……表示中の画面を閉じます。

ドキュメント情報……PDFデータのファイル名、保存日時などを表示します。

1件削除……表示中のPDFデータを削除します。

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

●ページを切り出す

PDFデータ画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存します。

❶切り出したいページを表示▶✉［ツール］▶「 」を選択▶■［確定］▶「YES」▶保存するフォルダを選択

切り出したページが保存されます。

おしらせ

●FOMA端末外への出力が禁止されているPDFデータから切り出した画像は、メール送信やmicroSDカードへのコピーなど、FOMA端末の外部に出力することはできません。

●コピーが禁止されているPDFデータの場合は、画面の切り出しができない場合があります。